アフターサービス

●保証書（別紙参照）

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から１年間です。

●対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。
※修理品の取り付け・取り外しにかかる費用は補償いたしかねます。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間　9：00 ～ 17：00　月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター　フリーコール　0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書は随時、弊社ホームページに公開されます。
最新情報は弊社ホームページでご確認ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)

株式会社ユピテル
〒108-0075 東京都港区港南1-6-31

6SS2575
ver 1.0

Yupiteru

カメラー体型ドライブレコーダー

Y-112cs

取扱説明書 12V車対応

画面自動オフ機能 搭載
無操作で画面を自動的に OFF する時間を選択できます。(初期値：1 分)

安全運転サポート機能 搭載
車線逸脱警告



このたびはユピテル製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書は取り付けおよび操作手順について記載しています。正しくご使用いただくため本書をよくお読みのうえご使用ください。

⚠ 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源OFFしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。

⚠ 電源ONの状態でmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。microSDカード破損の原因となります。必ず電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認し、microSDカードの抜き差しを行ってください。

⚠ SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

確認とご注意

安全上のご注意 …… 4
使用上のご注意 …… 9
もしも事故が起きたら… …… 12
SDカードをフォーマットする …… 14

基礎知識

各部の名称と働き …… 16
1. 付属品 …… 18
2. 別売品 …… 19
3. 付属品・別売品の購入について …… 19
SDカードの取り外し/装着 …… 20
1. SDカードを本体から取り外す …… 20
2. SDカードを本体へ装着する …… 20
動画記録モード …… 21
録画について …… 23
1. 常時録画(通常録画、タイムラプス、動体検知) … 23
2. イベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録) … 25
駐車監視モードについて …… 28
1. 駐車監視モードの種類 …… 28
2. 警報機能 …… 30
上書きモード …… 31
安全運転サポート機能について …… 33
1. 車線逸脱警告 …… 33
メンテナンスについて …… 34
初期値について …… 35

すぐに使う

本機の取り付け …… 36
1. フロントカメラユニットを取り付ける …… 37
2. 電源を接続する …… 39
別売品の取り付け …… 40
1. 12V/24V対応電源直結コード (OP-E1160)の接続方法 …… 40
2. マルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)の接続方法… 42
3. 駐車監視用 電源直結コード (OP-VMU5M)の接続方法 …… 46
電源ON ～ OFFまでの手順 …… 50
1. 電源ON(録画を開始する) …… 50
2. 日時を設定する …… 51
3. 録画を停止する …… 52
4. 録画を再開する …… 52
5. ワンタッチ記録をする …… 53
6. 音声録音をON/OFFする …… 53
7. 画面表示を切り替える …… 54
8. 電源OFF(録画を終了する) …… 54
駐車監視を行う(開始/終了) …… 55

カスタマイズして使う

設定モードの表示方法 …… 57
1. 設定モードを表示する …… 57
2. 録画を再開する …… 57
設定モード …… 58
基準位置初期化 …… 61
1. 基準位置を初期化する …… 61
SD初期化(フォーマット) …… 62
1. SDカードをフォーマットする …… 62

再生する

再生モードの表示・再生方法 …… 63
1. 再生モードを表示する ……63
2. 本機で録画ファイルを再生する ……63
3. 録画を再開する ……65

再生モード …… 66

録画ファイルの消去 …… 68
1. 録画ファイルを消去する ……68

その他

録画ファイルの読み出しについて … 70
1. SDカードを直接パソコンと接続する……71

こんなときは …… 72

故障かな？と思ったら …… 73

仕 様 …… 75

microSDカード対応一覧表…… 77
1. 録画時間の目安 ……77
2. イベント記録の最大記録件数 ……77

アフターサービス …… 裏表紙
1. お客様ご相談センター …… 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告：「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

⚠ 注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容です。

絵表示について

必ず実行していただく「強制」内容です。

してはいけない「禁止」内容です。

気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

☛ 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警 告

異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると、火災や発火、感電のおそれがあります。

＜異常な状態の例＞

・内部に異物が入った
・水に浸かった
・煙が出ている
・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

☛ P.78「アフターサービス」

心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。

本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。

車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



本機を次のような場所に保管しないでください。

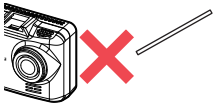
・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
・湿気やほこり、油煙の多い所
・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。

破裂、発火、やけどの原因となります。

穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。



病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。
電子機器などが誤作動するおそれがあり、重大な事故の原因となります。

本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。
爆発や火災の原因となります。

本機を改造しないでください。
故障の原因となり保証を受けることができません。また、それによって生じた損害に関しまして弊社は一切の責任を負いません。

SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んでしまうおそれがあります。

⚠ 注 意

結露したまま使い続けないでください。
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

落としたり、強いショックを与えないでください。
破損、故障の原因となります。

各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。
故障の原因となります。

濡れた手で操作しないでください。
感電の原因となります。



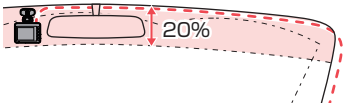
本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。
故障の原因となります。

本機は精密機械です。
静電気/電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●取り付けについて

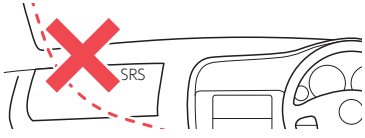
⚠ 警 告

取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
※保安基準の改定によりフロントガラスの下の縁から15㎝以内の取り付けが可能になりましたが、上部に比べ本機が高温になりやすいため、弊社は上部20%への取り付けをお勧めします。



取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。
万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



一部の運転支援システム装着車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。
取り付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

⚠ 注 意

取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。

本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむるおそれがあります。

突起部分などにご注意ください。

取り付けや取り外しの際、突起部分などでけがをするおそれがあります。

接続部は確実に奥まで挿し込んでください。

動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。

テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

●安全運転サポート機能について

⚠ 注 意

⚠ 安全運転サポート機能は、運転者の判断を補助し、運転負荷の軽減を目的とした機能になります。事故を未然に防ぐものではありません。

- 安全運転サポート機能を過信しないでください。あらゆる走行状況を判断してお知らせすることはできません。また、運転者の前方不注意や視界不良での運転動作を補助することはできません。
- 運転時は前方/後方車との距離や周囲の状況、運転環境に注意し、常に安全運転を心がけてください

⚠ 取り付け位置に条件があるためフロントガラス上部・中央へ取り付けてください。

●車線逸脱警告について

⚠ 注 意

⚠ 車線逸脱警告を使用する場合は設定変更を行ってください。初期値は [OFF] のため機能しません。

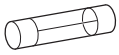
⚠ 取り付け位置や車種によっては検知しない、または頻繁に検知する可能性があるため必要に応じて設定を行ってください。

●電源コードについて

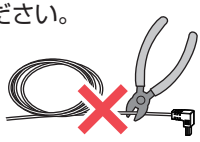
⚠ 警 告

- **電源コードは確実に挿し込んでください。**
  接触不良を起こして火災の原因となります。
- **お手入れの際は、電源コードを抜いてください。**
  感電の原因となります。
- **シガーライターソケットは単独でご使用ください。**
  タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
- **シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。**
  接触不良を起こして火災の原因となります。

- **指定以外のヒューズは使用しないでください。**
  指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



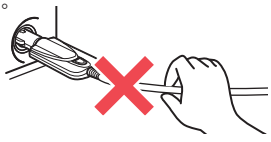
- **指定された電源電圧車以外では使用しないでください。**
  火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- **コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。**
  故障や感電の原因となります。



⚠ 注 意

- **車両停止(ACC OFF)してもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。**

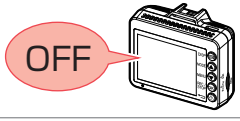
- **シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。**
  コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずプラグ部を持って抜いてください。



●SDカードについて

⚠ 注 意

- **SDカードの出し入れは、本機の電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。**



- **SDカードは一方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。**
  無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警 告

走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

海外ではご使用にならないでください。

本機は日本国内仕様です。

運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむるおそれがあります。

●本機のお手入れについて

⚠ 注 意

カメラのレンズが汚れている場合は、クリーニングクロスでやさしく数回拭いてください。

強く何度も拭いたり、乾いた布などで拭いたりするとキズの原因となります。

本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

レンズ表面や塗装面を傷めます。



使用上のご注意

●本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

●本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、弊社は一切の責任を負いません。
・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
・本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、弊社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
・本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。
・本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
・LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。
・映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のガラスは常に清潔にしてください。
・録画条件により、録画のコマ数(フレームレート)が変わる場合があります。
・運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
・事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ずSD カードを保管してください。
・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損するおそれがあります。
※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
※長期間使用しなかった場合。
※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

■ SDカードに関する注意

・カードリーダーは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないカードリーダーを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みができなくなる可能性があります。
・SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
・SDカードはデータの書き込みと消去を繰り返すことで断片化が進みSDカードエラーが起きやすくなります。本機は断片化しない独自のシステムを採用しており定期的なフォーマットは不要です。
・SDカードには寿命があります。SDカードのデータを記録する部分は多くのメモリーセクターで構成され、繰り返しデータの書き換えを行うとメモリーセクターは劣化する特性があります。劣化が進むとメモリーセクターの一部が破損し、正常に録画ができなくなる可能性があるため、定期的に新しいSDカードへの交換をお勧めします。(製品寿命はSDカードメーカーや使用状況により異なります)
・SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
・重要な記録データは、パソコンへの保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
・付属品以外のSDカードを使用する場合は、必ず初回起動時に本機でフォーマットしてください。
・本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、弊社は一切その責任を負いません。
・SDカード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。

■ 保証に関する注意

・本製品にはお買い上げから1年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

■ 取り付けに関する注意

・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やけがの原因となります。
・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
・本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
・ラジオアンテナ付近に配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。
・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ 液晶パネルに関する注意

・表示部を強く押したり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でけがの原因となります。
・表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でけがの原因となります。
・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
・太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。
・本体温度が高温になると液晶パネル保護のため液晶パネルが自動的に画面OFFになりますが録画は継続して行われます。動作温度範囲まで温度が下がると自動的に画面ONします。

■ 撮影された映像について

・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。
・電源OFF時やアイドリングストップ時などに、映像が黒画面になる場合がありますが故障ではありません。あらかじめご了承ください。

■ 日時保持用電池に関する注意

・本機は日時を保持するために本体内部に電池を搭載しています。初めて使用する場合や、長期間(3ヶ月以上)使用していなかった場合は、2時間程度走行して日時保持用電池の充電を行ってからご使用ください。また、日時保持用電池は消耗品のため十分な充電を行っても日時情報が保持されない場合は交換が必要です。お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

■ シガープラグコードに関する注意

・シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
・シガープラグコードのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。一部のアイドリングストップ車で、アイドリングストップ後のエンジン再始動時にシガーソケットなどへの供給電源が低下することがあるため、本体の電源が落ちる場合があります。

■ 真夏などの炎天下での注意

・サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。
・使用環境によっては本体が高温になり、やけど等のおそれがあるため触れる際はご注意ください。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

■ 駐車監視モードについて 別売品

・整備や車検などで車両を第三者に預ける場合は、車両停止(ACC OFF)後、設定によっては駐車監視が行われる旨をお伝えください。
・別売品の種類によっては車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担が生じます。毎日1時間以上走行しない、または1年以上同じバッテリーをご使用の場合はバッテリーが上がるおそれがあります。車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。
・オフタイマーの設定に関係なく、使用状況(接続状態/設置環境等)により電源供給できる時間は変化します。

MEMO

もしも事故が起きたら…

事故発生

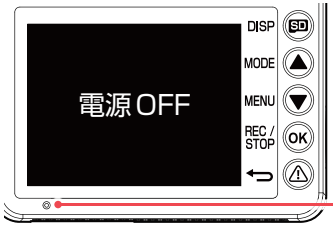


記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
※LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害について弊社は一切責任を負いません。

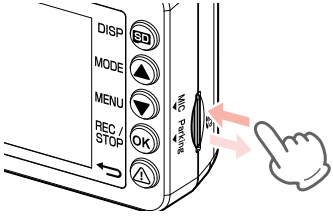
駐車監視なし(自動駐車モード切替：OFF)

1 車両を停止(ACC OFF)する



電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

3 SDカードを保管する

<保管場所について>

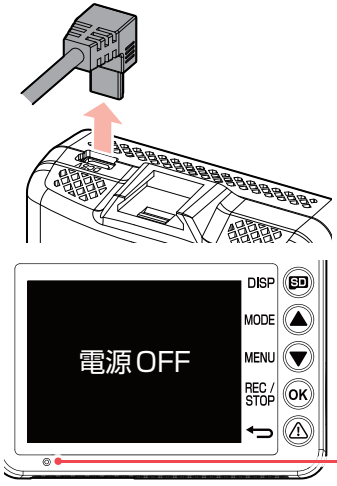
SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。



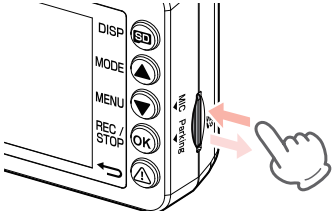
駐車監視あり(自動駐車モード切替：ON)

別売品

1 フロントカメラユニットのDCジャックから電源コードを取り外す



2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

3 SDカードを保管する

保管場所については ☛ P.12 を参照してください。

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

いつフォーマットするの？

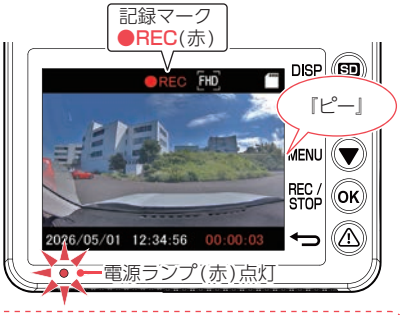
- 付属品以外のSDカードを使用するとき。(初回のみ)
- 解像度を変更するとき。(☛ P.58「解像度」)
- 「SDカードエラー」を表示しているとき。(☛ P.72)

※フォーマットを行うと、録画ファイルがすべて削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。
※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。
※駐車監視モード中は[設定][再生][フォーマット]できません。(OK)ボタンを3秒以上長押しして駐車監視モードを終了してから行ってください。

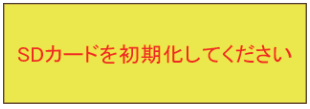
「(SD)ボタン」を使うフォーマット方法

1 車両を始動(ACC ON)する

録画を開始します。
- 電源ランプ(赤)点灯
- 記録マーク●REC(赤)表示

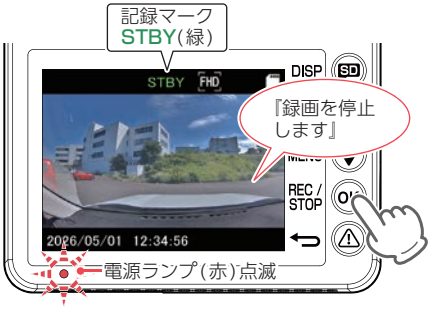


※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に「SDカードを初期化してください」と表示します。いずれかのボタンを押してメッセージ表示を解除するとフォーマット画面(3)を表示します。



2 (OK)ボタンを押す

録画を停止します。
- 電源ランプ(赤)点滅
- 記録マークSTBY(緑)表示



3 SDボタンを3秒以上長押しする

フォーマット画面を表示します。
「すべてのファイルが削除されます
初期化してもよろしいですか？」と
表示します。



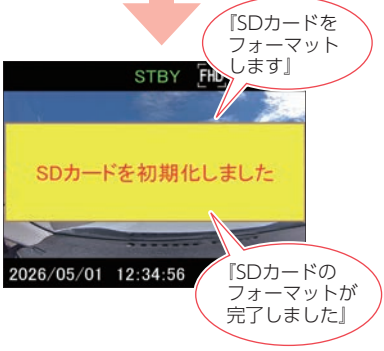
4 [実行]を選択し、OKボタンを押す

フォーマットを開始します。



完了後、「SDカードを初期化しました」
と表示します。
いずれかのボタンを押して、メッセージ
表示を解除してください。

※「初期化に失敗しました」など、エラーが
表示される場合は ☛ P.72を参照ください。



5 OKボタンを押す

録画を開始します。

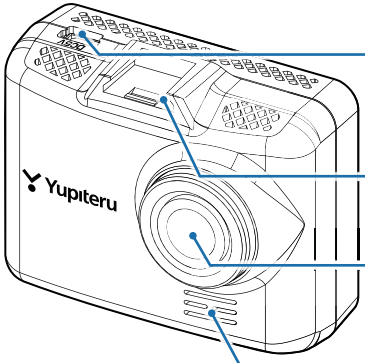


設定モードからフォーマットする場合は、☛ P.62を参照ください。

各部の名称と働き

■ フロントカメラユニット(本体)

正面



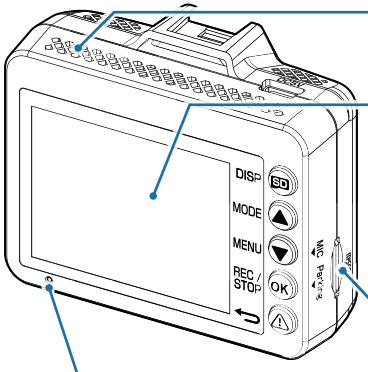
DCジャック(DC5V)
付属の電源コードを接続します。
(☛ P.39)

ジョイントレール
付属のブラケットを取り付けます。

レンズ
※ ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください。

スピーカー
録画ファイルの音声などが出ます。

背面



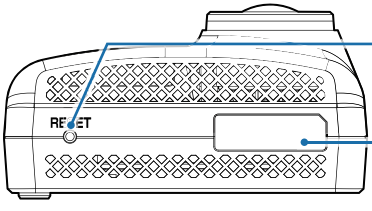
マイク(本体内蔵)
周辺の音を収集します。

フルカラー TFT液晶ディスプレイ 2.0インチ
各設定画面を表示したり、記録中の映像や記録後の映像を確認できます。
※ ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください。

microSDカード挿入口
※ microSDカードがあらかじめ装着されています。

電源ランプ(赤)
本体の動作状態をランプでお知らせします。
(☛ P.50)

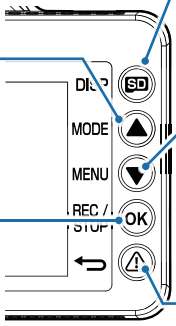
下面



リセットボタン
本体をリセットし、システムを再起動します。
(☛ P.17)

シリアルナンバー
製造番号が印刷されています。

操作ボタン



▲ ボタン(MODE)
再生モードを表示します。
(☛ P.63)

OK ボタン(REC/STOP)
録画を開始/停止します。
3秒以上長押しで駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)に切り替えます。(☛ P.24、24)

SD ボタン(DISP)
映像を切り替えます。(☛ P.54)
3秒以上長押しでフォーマット画面を表示します。(☛ P.14)

▼ ボタン(MENU)
設定モードを表示します。
(☛ P.57)
3秒以上長押しで音声録音をON/OFFします。(☛ P.53)

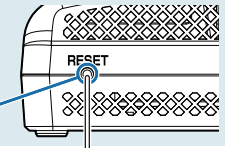
⚠ ボタン(⮌)/記録ボタン
録画中に押すとワンタッチ記録します。(☛ P.26、53)

■ リセットボタンについて

画面が固まって動かない
ボタンを押しても反応しない

こんなときは

先の細いもので
リセットボタンを
押して再起動して
ください。



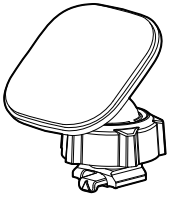
動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、フロントカメラユニット下面のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。

※ リセットボタンを押してもSDカードに記録したデータは消えません。

1. 付属品

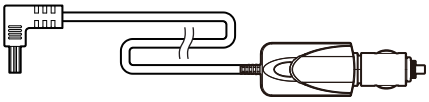
ご使用前に付属品をお確かめください。

■ フロントカメラ用ブラケット
(☛ P.37) ……1



※ ブラケットには両面テープが貼り付けてあります。

■ 5Vコンバーター付シガープラグコード
(約4m)(12V車専用)
(☛ P.39) ……1



■ microSDカード(16GB)……1
(本体にあらかじめ装着されています。)

■ 保証書 ……1

・本製品にはお買い上げから1年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)
・本機の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
・SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。
・どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お使いの機種と一緒にお買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店に純正品のSDカードをご注文ください。

2. 別売品

■ 12V/24V対応電源直結コード※1※4
(約4m)　OP-E1160

車内アクセサリー端子から直接電源をとることができます。12/24V電源の車両に対応しています。(☛ P.40)

■ 駐車監視用 電源直結コード※1※2※3
OP-VMU5M(12V/24V車対応)

車両バッテリーに繋げて使用する、オフタイマー設定・車両バッテリー監視機能付きの電源直結コードです。ACC ON/OFFと連動して常時録画⇔駐車監視モードへ自動で切り替えます。(☛ P.46)

本体 …… 1
両面テープ …… 1

■ マルチバッテリー※3※4
OP-MB4000Ⅱ(12V車専用)

車両を停止(ACC OFF)すると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車監視を行います。車両バッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。約3時間の走行で満充電になります。(☛ P.42)

本体 …… 1
入力コード …… 1
出力コード …… 1
面ファスナー …… 1

■ ACアダプター　OP-E368

ご家庭で使用することができます。

■ 専用microSDカード
OP-SD32M (32GB)
OP-SD64M (64GB)

※1：24V車に接続する場合、別売品の駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)、または12V/24V対応電源直結コード(OP-E1160)が必要になります。
※2：電圧監視機能付ですが、車両バッテリーの状態やお車のご使用状況などの起因により、バッテリー上がりを起こす可能性があります。バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。
※3：マルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)と駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)は組み合わせて使用できません。
※4：マルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)の接続には、12V/24V対応電源直結コード(OP-E1160)が必要になります。また、マルチバッテリーは12V入力のため、12V/24V対応電源直結コードを使用しても24V車では使用できません。

3. 付属品・別売品の購入について

・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「ＸＸ（機種名）用○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、右記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
https://spareparts.yupiteru.co.jp/

SDカードの取り外し/装着

本書では特にことわりのない場合、「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

※本機と市販品のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※本機は、16GB以上、128GB以下のmicroSDHC/microSDXCカードに対応しています。
(SDスピードクラス Class 10以上)

⚠ 注 意

- 電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。
- SDカードは一方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- 付属品以外のSDカードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- 使用環境によっては本体が高温になり、やけど等のおそれがあるため触れる際はご注意ください。

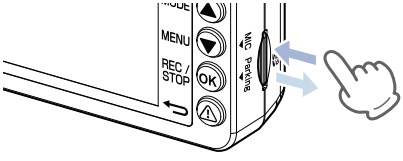
1. SDカードを本体から取り外す

駐車監視あり(自動駐車モード切替：ON)の場合は、初めにフロントカメラユニットから電源コードを取り外してください。(☛ P.13)

1-1 車両を停止(ACC OFF)する

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



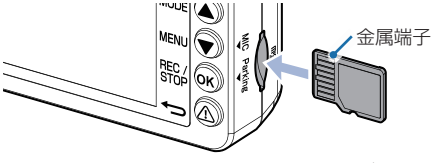
※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車室内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SDカードを本体へ装着する

2-1 車両を停止(ACC OFF)する

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

2-2 SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。
※SDカードの向きに注意して挿入してください。

動画記録モード

動画記録モードでは、連続して動画を記録します。





No.	表示名	説　明
①	音声録音OFFアイコン	音声録音が[OFF]の時に表示されます。音声録音OFF：
②	イベントアイコン	イベント記録時に表示します。 ワンタッチ記録： M 、Gセンサー記録： G
③	記録マーク	録画動作を表示します。 録画中：●REC(赤)、停止中：STBY(緑)
④	解像度	フロントカメラで録画する解像度を表示します。 1080P： FHD 、720P： 720
⑤	microSDアイコン	SDカードの状態をアイコンで表示します。 挿入時： 、未挿入時： 、異常時：
⑥	タイムラプス※1/ 動体検知アイコン	駐車監視モードの種類(タイムラプス/動体検知)をアイコンで表示します。 タイムラプス： 、動体検知： (有効)／ (無効)
⑦	日付・時刻	現在の日付と時刻を表示します。
⑧	記録時間※2※3	録画中に現在の映像の記録時間を表示します。

※1：タイムラプス中はGセンサー情報/音声は記録しないため音声録音OFFアイコンを表示します。
※2：1ファイル単位(30秒)の記録時間になります。(例 00:00:29→00:00:00→00:00:01…)
※3：タイムラプス中は1ファイル単位が13分45秒になります。

■ 動画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機　能	
SDボタン	短押し	画面表示をON/OFFします。(☛ P.54)
	長押し	3秒以上長押しでフォーマット画面を表示します。(☛ P.14)
▲ボタン	短押し	再生モードへ切り替えます。(☛ P.63)
▼ボタン	短押し	設定モードへ切り替えます。(☛ P.57)
	長押し	3秒以上長押しで音声録音をON/OFFします。(☛ P.53)
OKボタン	短押し	録画を開始/停止します。
	長押し	3秒以上長押しで駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)に切り替えます。(☛ P.24)
⚠ボタン	短押し	録画中に押すと、ワンタッチ記録を行います。(☛ P.53)

録画について

記録方法は、常時録画(通常録画/タイムラプス/動体検知)とイベント記録(Gセンサー記録/ワンタッチ記録)があります。
また、駐車中の長時間録画用に駐車監視モードがあります。(☛ P.28)

- お買い上げ時の設定では、SDカード容量がいっぱいになると、古い録画ファイルから上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。(☛ P.31「上書きモード」)
- 本体起動直後や録画ファイルの記録直後にボタン操作をすると、記録されないことがあります。
- SDカードの未挿入や異常時、またはメッセージが表示された場合は映像を記録することはできません。(☛ P.72「こんなときは」)

1. 常時録画(通常録画、タイムラプス、動体検知)

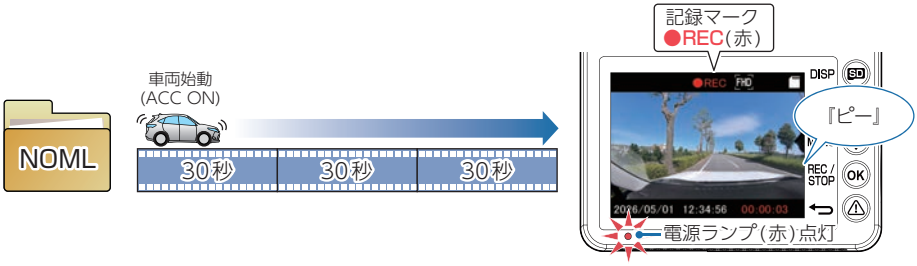
常時録画には、通常録画(27.5コマ/秒)とタイムラプス(1コマ/秒)があります。

※音量[0(消音)]にしている場合、音声/音によるお知らせはしません。
※駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)中は、[設定][再生][フォーマット]を行うことはできません。(OK)ボタンを3秒以上長押しして駐車監視モードを終了してから行ってください。

- **録画ファイル構成**
  1ファイルあたり通常録画/動体検知は約30秒、タイムラプスは約13分45秒で生成します。
- **録画可能時間**
  初期値(☛ P.35)で、付属のSDカード(16GB)に約109分/約50時間の常時録画が可能です。
  SDカードの容量、解像度によって録画可能時間は異なります。(☛ P.77「録画時間の目安」)
- **上書き設定**
  初期値では上書き設定が[全て上書き]のため、上限以降も古い録画ファイルを上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.31「上書きモード」)

■ 通常録画

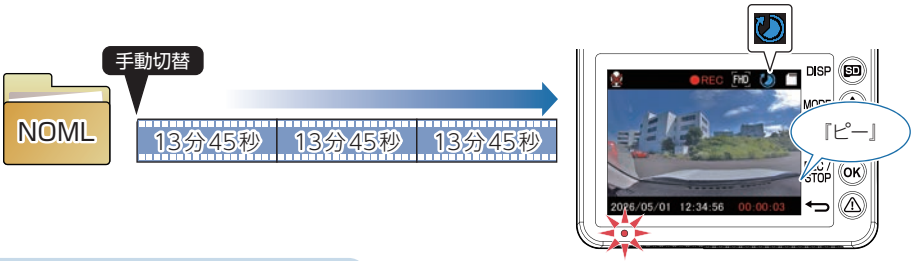
フレームレートを「27.5コマ/秒」で映像を常時記録します。



■ タイムラプス

長時間録画に対応するため、フレームレートを「1コマ/秒」に変更し映像を常時記録します。

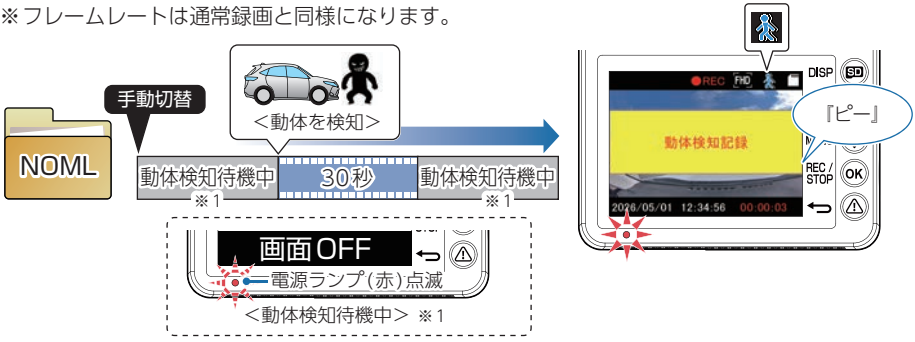
※タイムラプス中は、フレームレートが「1コマ/秒」に固定されます。そのため約13分45秒の映像が1ファイルになり、再生すると早送りの映像になります。
※タイムラプス中はGセンサー情報/音声は記録しません。



■ 動体検知

フロントカメラの映像の変化から動体を検知すると記録を開始します。

※映像の変化から動体を検知するため、検出範囲内であっても周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。
※動体検知の感度は変更できます。(☛ P.58「動体検知感度」)
※フレームレートは通常録画と同様になります。



●手動切替方法

動画記録モードで、(OK)ボタンを3秒以上長押ししてください。
駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)中はアイコンを表示します。(タイムラプス：、動体検知：/)

※ (OK)ボタンを短押しで、タイムラプスや動体検知を開始/停止できます。

※ 終了する場合は、再度 (OK) ボタンを3秒以上長押ししてください。また、本体の電源OFFでも駐車監視モードは終了します。



※1：動体検知待機中：動体検知/Gセンサー起動、カメラ起動、録画停止状態
※2：駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)により、メッセージは異なります。

2. イベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録)

イベント記録には、Gセンサー記録とワンタッチ記録があります。

※音量[0(消音)]にしている場合、音声/音によるお知らせはしません。

・**録画ファイル構成**
常時録画の録画ファイル構成と同様になります。
※ イベント発生のタイミングによって移動するファイル/ファイル数は異なります。(☛ P.27)

・**最大記録件数**
初期値(☛ P.35)で付属のSDカード(16GB)に、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせて約146件の録画が可能です。SDカードの容量、解像度によってイベント記録件数は異なります。(☛ P.77「イベント記録の最大記録件数」)

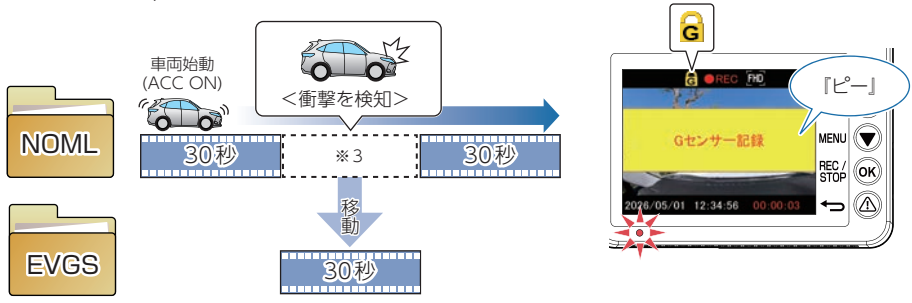
・**上書き設定**
初期値では上書き設定が[全て上書き]のため、上限以降も古い録画ファイルを上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.31「上書きモード」)

■ Gセンサー記録

Gセンサーが一定以上の衝撃を検知すると、録画ファイルをSDカードの「EVGS」フォルダに移動します。

※初期値では[常時Gセンサー設定/駐車Gセンサー設定:ON]となります。設定で[OFF]にすることもできます。(☛ P.58)

※Gセンサーの感度(X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向))を設定することができます。初期値では、常時(ACC ON)はすべて[1.0G]、駐車監視モード時(ACC OFF)はすべて[0.5G]となります。(☛ P.58)



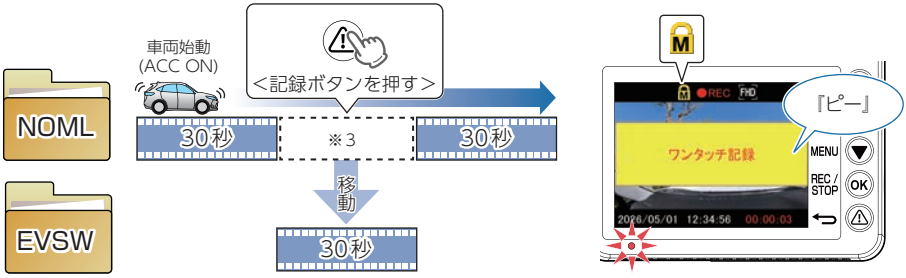
⚠ 注 意

事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。

※3:イベント発生のタイミングによって移動するファイル数は異なります。(☛ P.27)

■ ワンタッチ記録<手動録画>

録画中に⚠ボタンを押すと、録画ファイルをSDカードの「EVSW」フォルダに移動します。



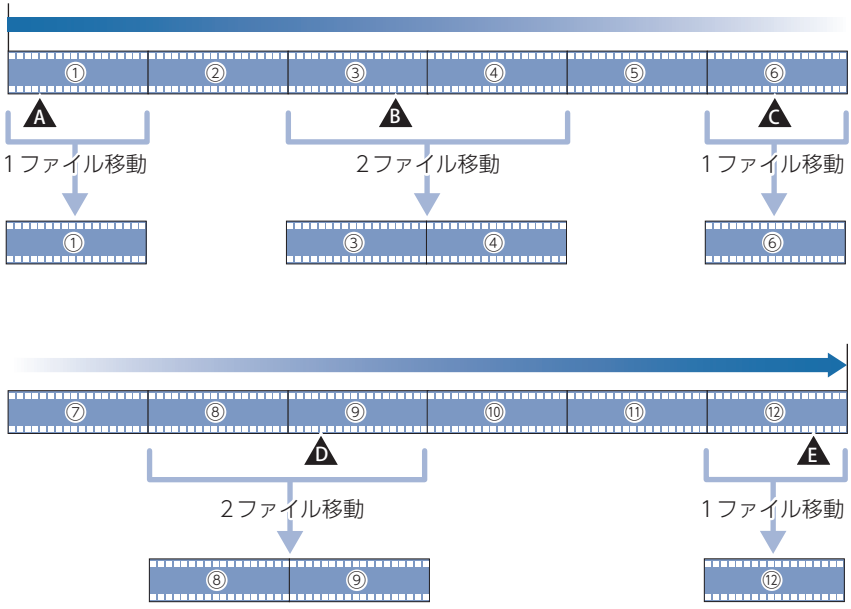
⚠ 注 意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く行ってください。

※3：イベント発生のタイミングによって移動するファイル数は異なります。(☛ P.27)

■ イベント発生のタイミングによる移動ファイル数について

A：イベント発生タイミングが録画開始直後 ① の「0 ～ 15秒」の場合
B：イベント発生タイミングが ③ の「15 ～ 30秒」の場合
C：タイムラプスでイベント発生タイミングが ⑥ の録画ファイル内の場合
D：イベント発生タイミングが ⑨ の「0 ～ 15秒」の場合
E：イベント発生タイミングが録画終了前 ⑫ の「16 ～ 30秒」の場合



駐車監視モードについて

別売品

本機は駐車中の長時間録画用に駐車監視モードがあります。
駐車監視モードの動作は設定により異なります。必要に応じてモードを切り替えてご使用ください。(☛ P.58「駐車監視モード」)

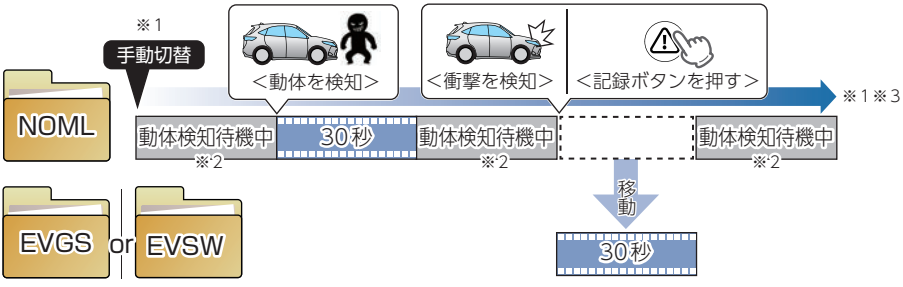
※駐車監視モードの使用には車両停止(ACC OFF)状態での電源供給が必要なため、別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)、または駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)が必要になります。(☛ P.19)
※駐車監視モード中は画面自動オフの設定に関わらず、1分後に画面OFFします。
※駐車監視モード中は[設定][再生][フォーマット]できません。(OK)ボタンを3秒以上長押しして駐車監視モードを終了してから行ってください。

1. 駐車監視モードの種類

駐車監視モード	録画	イベント記録
動体検知(☛ 下記参照)	—	動体検知記録+Gセンサー記録+ワンタッチ記録
タイムラプス(☛ P.29)	タイムラプス	Gセンサー記録+ワンタッチ記録

■ 動体検知

動体検知で待機し、イベント記録(動体検知記録/Gセンサー記録/ワンタッチ記録)で動作します。

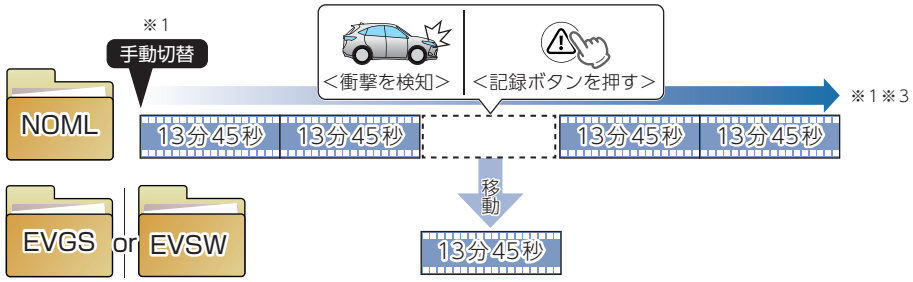


(OK) ボタンを短押しで、動体検知を開始/停止できます。
※画面OFFの場合、いずれかのボタンを押して画面ONしてから行ってください。

※1:別売品の駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)接続時は、自動駐車モード切替[ON]にすることで、車両始動/停止(ACC ON/OFF)と連動して常時録画⇔駐車監視モードへ自動で切り替えることができます。(☛ P.55)
※2:動体検知待機中:動体検知/Gセンサー起動、カメラ起動、録画停止状態
※3:検出電圧/オフタイマー設定(☛ P.43、48)、または(OK)ボタンを3秒以上長押しで終了します。

■ タイムラプス

タイムラプスとイベント記録(Gセンサー記録/ワンタッチ記録)で動作します。



(OK) ボタンを短押しで、タイムラプスを開始/停止できます。
※画面OFFの場合、いずれかのボタンを押して画面ONしてから行ってください。

●手動切替方法

動画記録モードで、(OK)ボタンを3秒以上長押ししてください。

駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)中はアイコンを表示します。(タイムラプス:、動体検知:/)

※ (OK)ボタンを短押しで、タイムラプスや動体検知を開始/停止できます。

※ 終了する場合は、再度 (OK) ボタンを3秒以上長押ししてください。また、本体の電源OFFでも駐車監視モードは終了します。



※1:別売品の駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)接続時は、自動駐車モード切替[ON]にすることで、車両始動/停止(ACC ON/OFF)と連動して常時録画⇔駐車監視モードへ自動で切り替えることができます。(☛ P.55)

※2:動体検知待機中:動体検知/Gセンサー起動、カメラ起動、録画停止状態

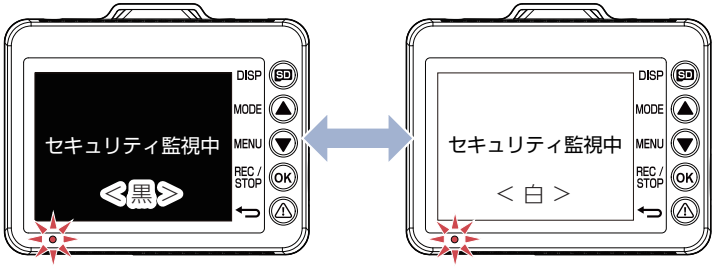
※3:検出電圧/オフタイマー設定(☛ P.43、48)、または(OK)ボタンを3秒以上長押しで終了します。

※4:駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)により、メッセージは異なります。

2. 警報機能

駐車監視モード時にイベント記録が発生した場合、約10秒間LCDフラッシュ(画面の白黒点滅)で不審者を威嚇します。

※初期値では[LCDフラッシュ：OFF]のため機能しません。(☛ P.58)



上書きモード

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(☛ P.58「上書きモード」)

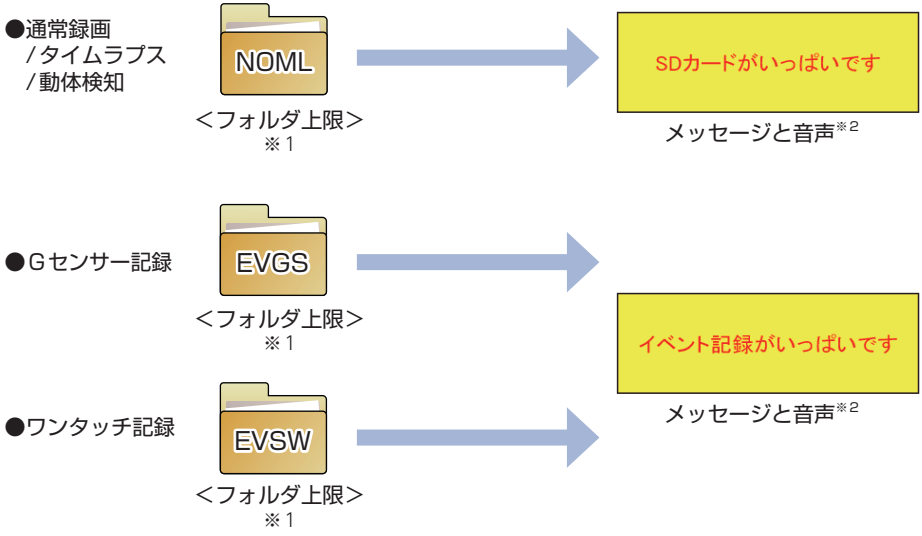
上書き設定		上限に達した場合の動作	
		常時録画	イベント記録
上書き禁止	すべての録画ファイルは上書きされません。	録画を停止	録画を停止
常時録画上書き	常時録画(NOML)フォルダのファイルのみ上書きします。	上書きして録画を継続	録画を停止
全て上書き(初期値)	すべての録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続

※上書きは古い録画ファイルから自動で行われます。

■ 上書き禁止

各フォルダがそれぞれ上限に達すると、その記録方法での録画を停止します。

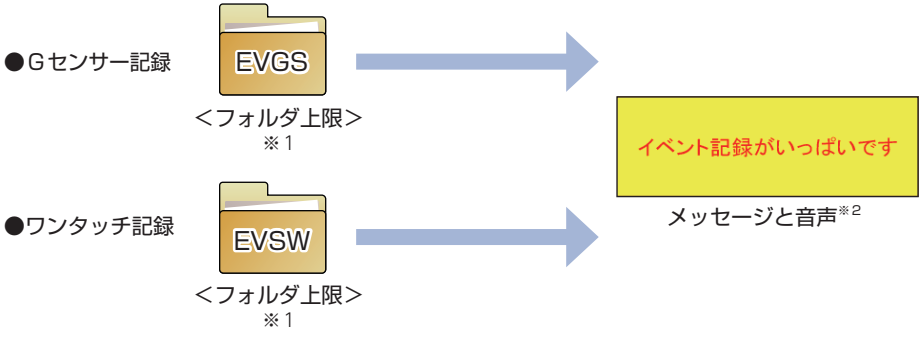
例：イベント記録(EVGS、EVSW)フォルダの上限に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画(NOML)フォルダが上限に達していなければ、通常録画/タイムラプスを続けます。



※1：録画画質/SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。
※2：音量[0(消音)]にしている場合、音声/音によるお知らせはしません。

■ 常時録画上書き

常時録画(NOML)フォルダが上限に達すると、そのフォルダ内のファイルを上書きし、録画を続けます。
イベント記録は、フォルダ(EVGS、EVSW)の上限に達した時点で、その記録方法での記録を停止します。



■ 全て上書き(初期値)

各フォルダがそれぞれ上限に達すると、各記録方法の古いファイルを上書きし、録画を続けます。

メッセージ表示を解除する場合は、いずれかのボタンを押してください。

※1：録画画質/SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。
※2：音量[0(消音)]にしている場合、音声/音によるお知らせはしません。

安全運転サポート機能について

安全運転サポート機能は、運転者の判断を補助し、運転負荷の軽減を目的とした機能になります。事故を未然に防ぐものではありません。

※安全運転サポート機能は、録画中(画面OFF時も含む)にお知らせします。録画停止中や駐車監視モード中では機能が無効になりお知らせしません。あらかじめご了承ください。
※安全運転サポート機能の画面表示は、録画ファイルには記録されません。

⚠注 意

- 安全運転サポート機能を過信しないでください。あらゆる走行状況を判断してお知らせすることはできません。また、運転者の前方不注意や視界不良での運転動作を補助することはできません。
- 運転時は前方/後方車との距離や周囲の状況、運転環境に注意し、常に安全運転を心がけてください。
- 車線逸脱警告を使用する場合は、取り付け位置に条件があるためフロントガラス上部・中央へ取り付けてください。(☛ P.36)
- 車線逸脱警告を使用する場合は設定変更を行ってください。初期値は[OFF]のため機能しません。(☛ P.58)

1. 車線逸脱警告

走行中に自車の車線逸脱(走行車線からのはみ出し)を検知するとお知らせします。



お知らせ方法は下記から選択できます。(☛ P.58)

- 警告音 ……『ピ×5回』
- 音声警告 …『車線注意』
- 音声なし …警告音/音声警告は鳴りません。



※ 上記画面を数秒表示します。

※ 音量が[0(消音)]の場合、警告音/音声警告は鳴りません。

- 画像処理によって車線を検知するため、紛らわしいシルエットを誤認識したり、車線の種類、車線幅や周囲の状況、気象条件等によって、正常に機能しない場合があります。あらかじめご了承ください。
  ※白色または黄色の直線や破線以外の形状の車線は認識できない場合があります。
  ※積雪などで車線を検知できない場合は機能しません。
  ※経年劣化した車線(かすれ、削れている)は認識できない場合があります。
  ※ワイパー作動中は車線を認識できない場合があります。
- 車両のウインカーと連動していないため、車線変更時にもお知らせします。

メンテナンスについて

■ 1 ヶ月に一度のメンテナンス

・日時の調整

> ⚠ 注 意
>
> 本機には日時の自動補正機能はありません。1 ヶ月に一度は手動で日時を合わせることをお勧めします。(☛ P.51)

■ 必要に応じてメンテナンス

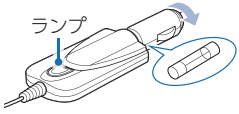
・付属のシガープラグコードのヒューズ交換

※交換用ヒューズ 2A (20mm × 5.2mm)

接続状態で車両始動 (ACC ON) しても電源 ON にならない (シガープラグコードのランプが点灯しない) 場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

① シガープラグコードが奥まで挿し込まれていることを確認してください。
② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズが切れていないかを確認してください。
③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

シガープラグの先端を、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、シガープラグの先端を図の矢印と逆方向に回し、しっかりと閉める。



・別売品のヒューズ交換

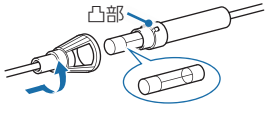
※マルチバッテリー (OP-MB4000Ⅱ) : 交換用ヒューズ 6A (30mm × 6.0mm)
※駐車監視用 電源直結コード (OP-VMU5M) : 交換用ヒューズ 3A (20mm × 5.2mm) × 2
※12V/24V 対応電源直結コード (OP-E1160) : 交換用ヒューズ 2A (20mm × 5.2mm)

接続状態で車両始動 (ACC ON) しても電源 ON にならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

① 電源コード / 接続コード類が外れていないかを確認してください。
② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズが切れていないかを確認してください。
③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

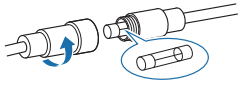
<OP-MB4000Ⅱ>

ヒューズホルダーの先端を、押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回す。



<OP-VMU5M、OP-E1160>

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目	初期値	説　明
解像度	1080P	フロントカメラの映像を1920×1080の解像度で録画します。
音声録音	ON	映像と一緒に録音します。
常時Gセンサー記録 駐車Gセンサー設定	ON	常時(ACC ON)/駐車監視モード時(ACC OFF)にGセンサー記録を行います。
常時Gセンサー感度	X：1.0G Y：1.0G Z：1.0G	常時(ACC ON)/駐車監視モード時(ACC OFF)のGセンサー感度を[1.0G]/[0.5G]に設定しています。 ※X(前後方向)/Y(左右方向)/Z(上下方向) ※感度は数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります。
駐車Gセンサー感度	X：0.5G Y：0.5G Z：0.5G	
上書きモード	全て上書き	SDカード容量の上限に達すると、すべての録画ファイルを上書きします。(☛ P.31「上書きモード」)
自動駐車 モード切替	OFF	車両停止(ACC OFF)時に自動で駐車監視モードへ移行しません。
駐車監視モード	タイムラプス	駐車監視モードを、タイムラプスとGセンサー/ワンタッチ記録で動作します。
動体検知感度	MID(普通)	フロントカメラの動体検知感度を[MID]に設定しています。
LCDフラッシュ	OFF	駐車監視モード時にイベント記録が発生した場合、LCDフラッシュで威嚇しません。
車線逸脱警告	OFF	警告を行いません。
フリッカレス	60Hz	商用周波数を60Hz(西日本)に設定しています。
音量	5	本機の音量を[5]に設定しています。 (0(消音)<1<2<3<4<5) ※音量は一律で変更され、個別に設定することはできません。
操作音	ON	操作時に音を鳴らします。
画面自動オフ	1分	1分間無操作で画面OFFします。

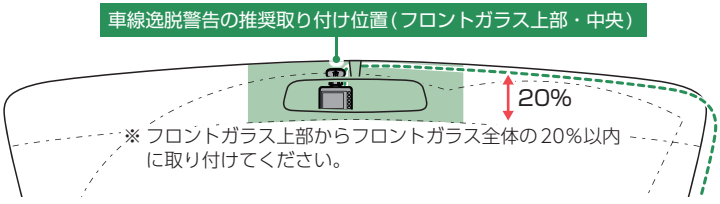
※初期値を変更する場合は、☛ P.57「カスタマイズして使う」を参照ください。

本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

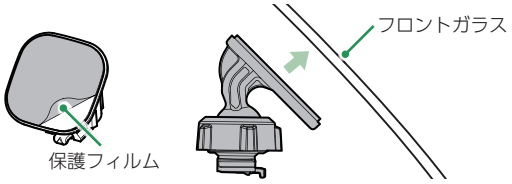
・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
・両面テープは所定の位置にしっかり取り付けてください。
・視界の妨げにならないように取り付けてください。
・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に鮮明に記録できない可能性があります。
・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
・本機の周囲に物を配置しないでください。映像が映り込む可能性があります。
・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
・テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。
・車線逸脱警告を使用する場合は、取り付け位置に条件があるためフロントガラス上部・中央へ取り付けてください。



1. フロントカメラユニットを取り付ける

あらかじめ、ガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

1-1 フロントカメラ用ブラケットから保護フィルムをはがし、フロントガラスに取り付ける

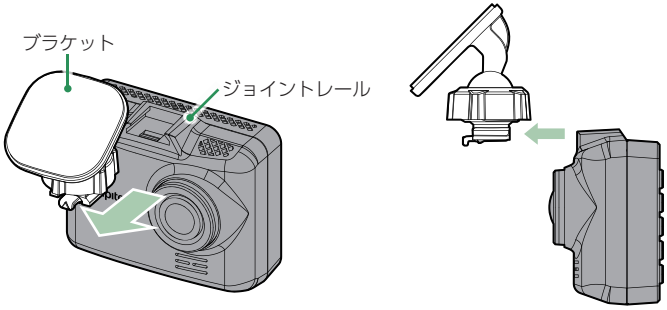


ブラケットに本体を装着したときに、電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

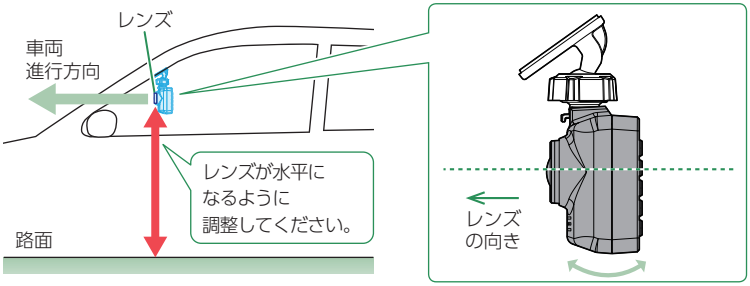
- フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- 極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- 貼り直しをすると両面テープの粘着力が弱まり脱落するおそれがあります。
- 固定力を強くするために本体を取り付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- 両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

1-2 フロントカメラ用ブラケットを本体のジョイントレールに合わせ、矢印の方向にスライドさせ装着する



『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

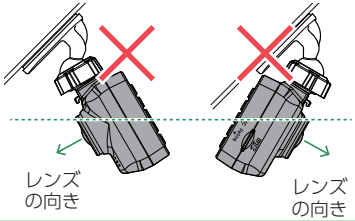
1-3 レンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整する



※カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなるおそれがあります。
※奥までスライドさせ、軽く本体を引っ張り、本体が外れないことを確認してください。走行中に落下するおそれがあります。

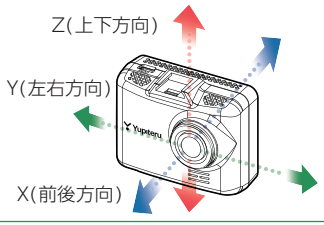
レンズの向きが車両進行方向と水平でない場合、Gセンサー記録が誤って動作することがあります。

※正しくGセンサー記録を動作させるには、必ずレンズの向きが、車両進行方向と水平になるように調整してください。

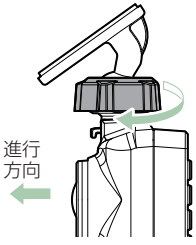


Gセンサー感度について

Gセンサー感度は右図の3方向(XYZ)で設定します。
設定範囲は常時(ACC ON)で0.5 G(敏感)～4.0 G(鈍感)、駐車時(ACC OFF)で0.2G(敏感)～4.0G(鈍感)の0.1 G単位で設定できます。

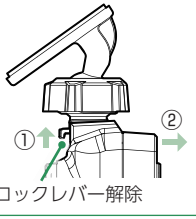


1-4 ナットを締めて固定する



■ 取り外し方法

①ロック解除レバーを持ち上げる。
②本体を矢印の方向へスライドさせる。



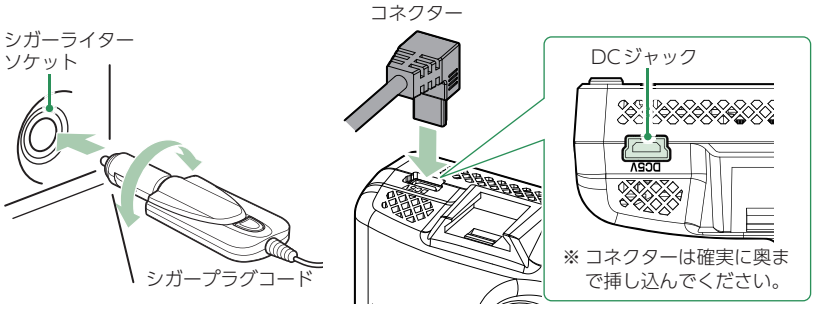
※確実にナットで固定してください。走行中に落下するおそれがあります。
※ナットを締めた後は本体の向きを調整しないでください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。ナットを緩めてから調整してください。
※ナットを緩める場合は、本体を回さずにナットを緩めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。

2. 電源を接続する

付属のシガープラグコードを接続します。

※別売品で接続する場合は ☛ P.40 を参照ください。

2-1 シガープラグコードを接続する



付属のシガープラグコードをフロントカメラユニットのDCジャックと車両のシガーライターソケットに挿し込みます。

※付属のシガープラグコードコードをご使用ください。

※電源はDC12V(マイナスアース)車専用です。24V車ではご使用いただけません。

※コネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-2 市販品の結束バンドなどを使い、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

・運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光のあたる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

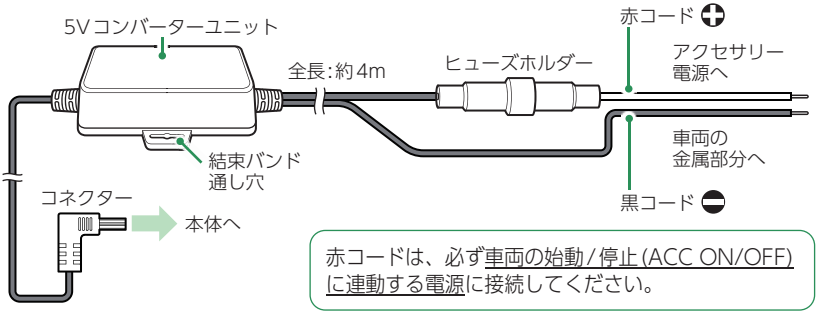
別売品の取り付け

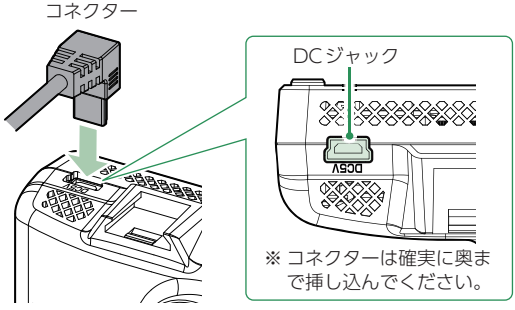
⚠ 注 意

・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

1. 12V/24V対応電源直結コード(OP-E1160)の接続方法

1-1 電源直結コードを接続する





別売品の12V/24V対応電源直結コード(OP-E1160)をフロントカメラユニットのDCジャックと車両へ接続します。

※電源はDC12V/24V(マイナスアース)車対応です。
※コネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

1-2 市販品の結束バンドなどを使い、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

・運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光のあたる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

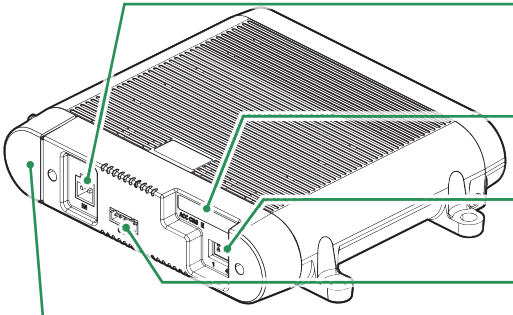
取り付けと配線が終了したら、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に作動しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

2. マルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)の接続方法

⚠ 注 意

・OP-MB4000Ⅱを3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクターを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
※ 電源コネクターを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。
・ディップスイッチを操作できる場所へ取り付けてください。

■ OP-MB4000Ⅱ



入力端子(DC12V)
OP-MB4000Ⅱ付属の入力コードを接続します。

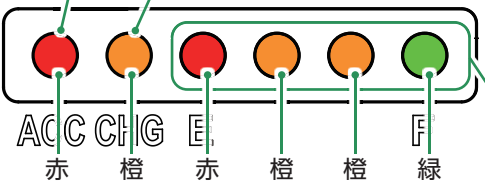
表示ランプ
給電・充電・電池残量をランプで表示します。

ディップスイッチ
オフタイマー設定に使用します。

出力端子(DC12V)
OP-MB4000Ⅱ付属の出力コードを接続します。

電源コネクター

■ 表示ランプについて



本体給電中に点灯、放電中に低速点滅します。

充電中に点灯、動作温度範囲外で充電を停止し低速点滅します。
※ 高速点滅した場合は電池異常のためすぐに使用を中止してください。

電池残量をランプの点灯数で表示します。
※ 車両停止(ACC OFF)後、5秒間点灯します。
※ 約3時間で満充電になります。

■ OP-MB4000Ⅱ接続時に必要なもの

①OP-MB4000Ⅱ　②OP-MB4000Ⅱ付属入力コード　③OP-MB4000Ⅱ付属出力コード
④12V/24V対応電源直結コード(OP-E1160)　⑤市販品接続端子(ギボシ端子など)

※付属品のシガープラグコードは使用しません。

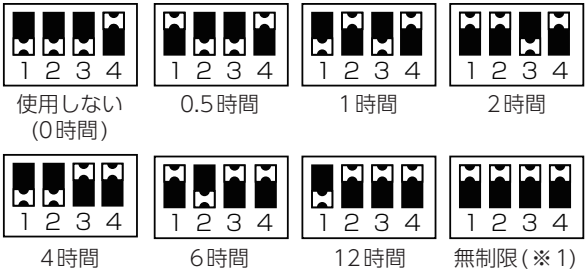
2-1 オフタイマーを設定する

車両停止(ACC OFF)後、OP-MB4000Ⅱの内蔵電池から電源供給する時間を、ディップスイッチで設定(オフタイマー設定)します。

※お買い上げ時(工場出荷時)のままでは、使用できません。車両停止(ACC OFF)時にディップスイッチの操作を行ってください。車両始動(ACC ON)した際に設定が反映されます。
※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。

■ オフタイマー設定



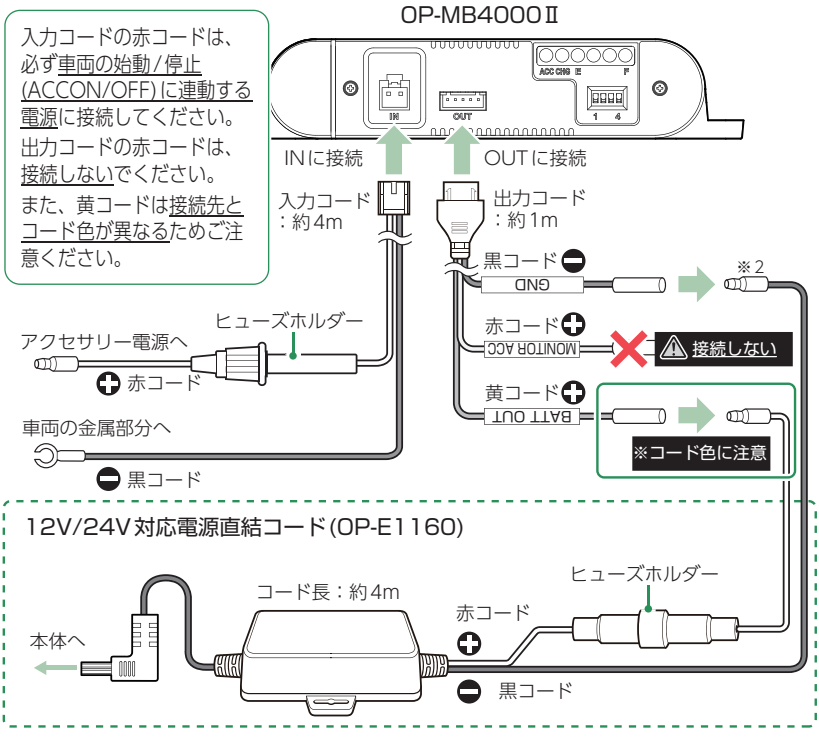


※1：電池残量がなくなるまで電源を供給します。

⚠ 注 意

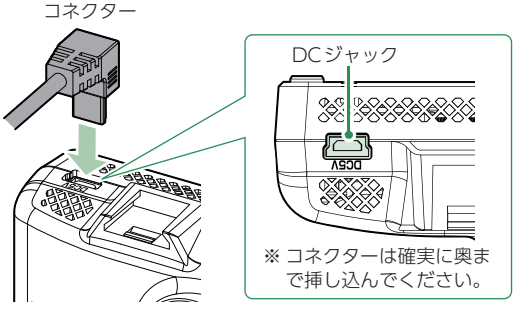
・オフタイマー設定に関係なく、使用状況(使用機種/接続状態/充電状態/設置環境等)により電源供給できる時間は変化します。また、OP-MB4000Ⅱの内蔵電池が少なくなった場合には電源供給を自動的に停止します。
・オフタイマー設定を「使用しない(0時間)」に設定した場合、駐車監視は行いません。OP-MB4000Ⅱの内蔵電池を満充電したい場合や駐車監視を行わない場合などに設定してください。

2-2 OP-MB4000Ⅱを車両に接続する



※2：あらかじめ市販品の接続端子を取り付けてください。

2-3 電源コネクターを接続する

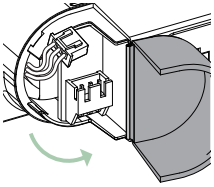


電源直結コードをフロントカメラユニットのDCジャックへ接続します。

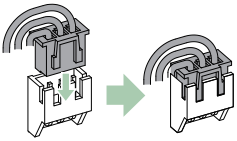
※コネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-4 OP-MB4000Ⅱの電源コネクターを接続する

①カバーを開ける

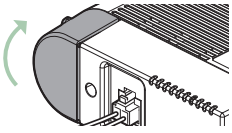


②電源コネクターを接続する



※奥まで確実に挿し込んでください。

③カバーを閉じる



※「カチッ」と音が鳴るまで閉めてください。

2-5 OP-MB4000Ⅱ付属の面ファスナーや市販品の結束バンドなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- 運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 直射日光のあたる場所。
- 不安定な場所。
- 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- 車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

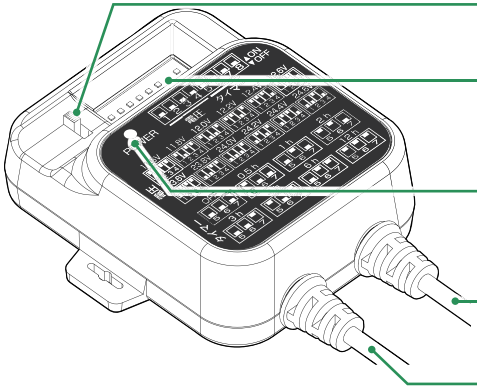
取り付けと配線が終了したら、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に作動しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

3. 駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)の接続方法

⚠ 注 意

- 2日以上使用しない場合は、駐車記録スイッチをOFFにしてください。車両バッテリー上がりの原因となります。
  ※ 駐車記録スイッチをOFFにした場合でも接続する機器への電源供給は行えます。
- ディップスイッチを操作できる場所へ取り付けてください。
- 車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担が生じます。毎日1時間以上走行しない、または1年以上同じバッテリーをご使用の場合はバッテリーが上がるおそれがあります。車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

■ OP-VMU5M



駐車記録スイッチ
駐車監視のON/OFFに使用します。

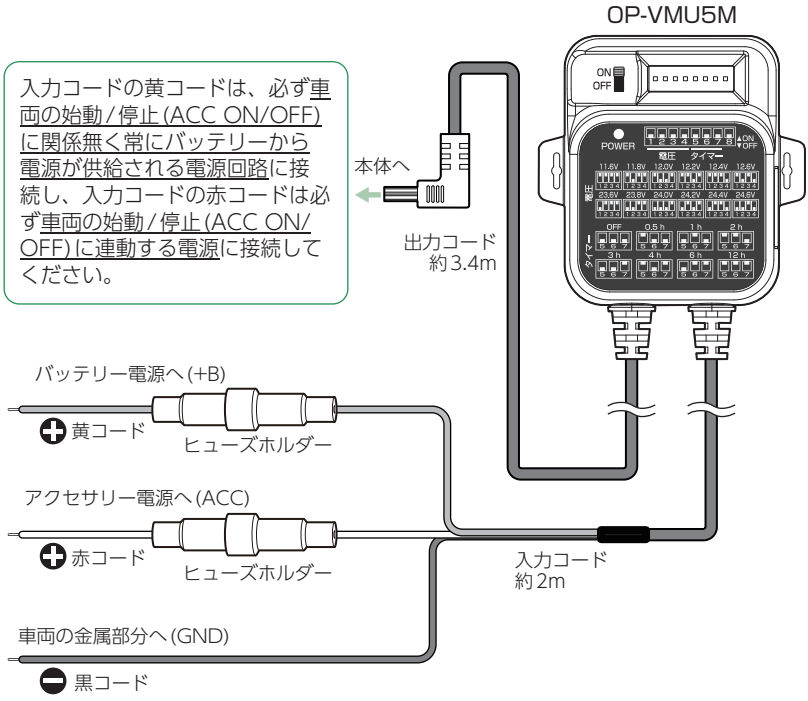
ディップスイッチ
検出電圧設定とオフタイマー設定に使用します。

出力ランプ(赤)
車両始動(ACC ON)時、および駐車監視時にランプ(赤)が点灯します。

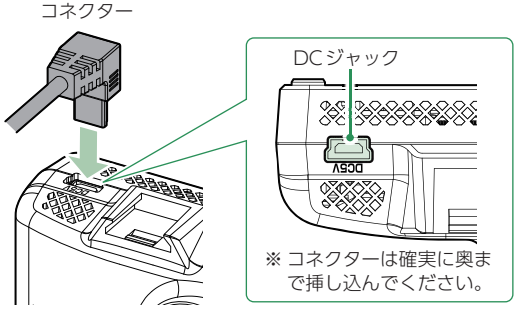
入力コード
車両と接続します。

出力コード
接続機器と接続します。

3-1 OP-VMU5Mを車両に接続する



3-2 出力コードを接続する



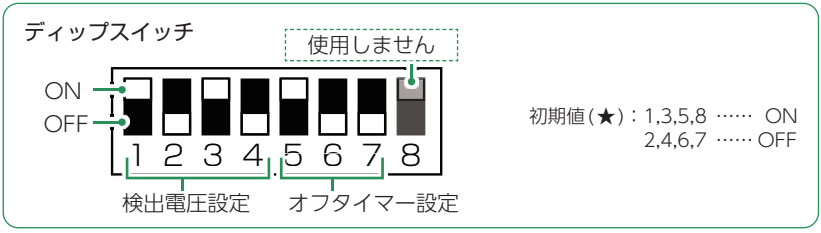
出力コードをフロントカメラユニットのDCジャックへ接続します。

※コネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

3-3 検出電圧設定とオフタイマー設定をする

車両停止(ACC OFF)後、車両のバッテリーが設定したバッテリー電圧以下になると、車両のバッテリーから電源供給を停止する検出電圧設定と、車両停止(ACC OFF)後、設定した時間になると車両のバッテリーから電源供給を停止するオフタイマー設定があります。

※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。



■ 検出電圧設定(1 ～ 4使用)

12V車



24V車



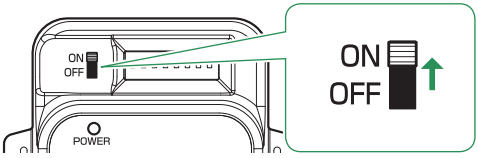
■ オフタイマー設定(5～7使用)



⚠ 注 意

- ディップスイッチの[8]は使用しません。初期値(ON)のまま変更しないでください。
- オフタイマー設定に関係なく、検出電圧設定以下になった場合には車両のバッテリーからの電源供給を停止します。
- オフタイマー設定を「OFF(0時間)」に設定した場合、駐車監視は行いません。駐車監視を行わない場合などに設定してください。

3-4 駐車記録スイッチをONにする



3-5 OP-VMU5M付属の両面テープなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。
- 運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 不安定な場所。
- 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- 車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
- ディップスイッチの操作ができない場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

取り付け後は、自動駐車モード切替を[ON]、駐車監視モードを選択してください。(☛ P.58)

※自動駐車モード切替の[ON/OFF]に関係なく、検出電圧設定/オフタイマー設定は機能します。

電源ON ～ OFFまでの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合は下記手順に沿って操作の確認をお願いします。

車両始動 (ACC ON)　　車両停止 (ACC OFF)

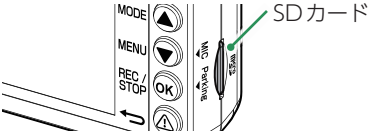
1 録画開始 ▶ 2 日時設定 ▶ 3 録画停止 ▶ 4 録画再開 ▶ 5 ワンタッチ記録 ▶ 6 音声録音 ▶ 7 画面切替 ▶ 8 録画終了

※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。
フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源ON(録画を開始する)

本機は、車両の始動(ACC ON)に連動して録画を開始します。

1-1 SDカードが挿入されていることを確認する



・SDカードが挿入されていないときは…
電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認して、SDカードを挿入してください。
☛ P.20「SDカードの取り外し/装着」

1-2 車両を始動(ACC ON)する



・電源ランプについて

ランプの状態	本体の動作
赤点灯	録画中
赤点滅	録画以外の動作／エラー
消灯	電源OFF

録画を開始します。
電源ランプ(赤)が点灯、記録マーク●REC(赤)を表示します。
※エラーメッセージを表示した場合は ☛ P.72を参照ください。

・録画開始までの時間について
本体の状態によって録画開始までに数十秒かかる場合があります。電源ランプの状態を確認してから走行を開始してください。

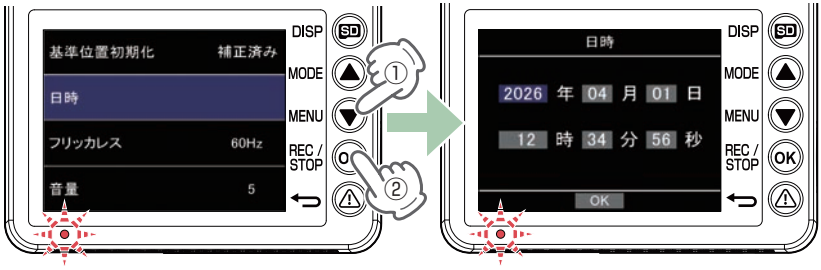
・SDカードチェック機能について
SDカードの破損や不具合を見つけたらお知らせします。(☛ P.72)

2. 日時を設定する

※本機には日時の自動補正機能はありません。1 ヶ月に一度は手動で日時を合わせることをお勧めします。

2-1 設定モードを表示する(☛ P.57)

2-2 [日時]を選択し、(OK)ボタンを押す



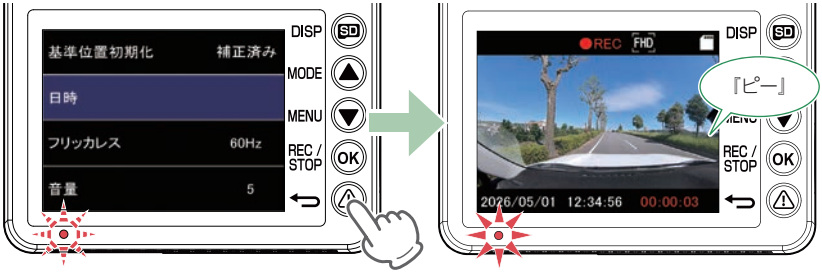
2-3 日時を設定する



ボタン	機　能
(SD)ボタン	使用しません
(▲)ボタン	値が増加します。
(▼)ボタン	値が減少します。
(OK)ボタン	次の項目に移動します。[年]⇒[月]…
(⚠)ボタン	前の画面に戻ります。

(⚠)ボタン、または画面下部の[OK]まで項目を移動し(OK)ボタンを押すと日時は更新され前の画面に戻ります。

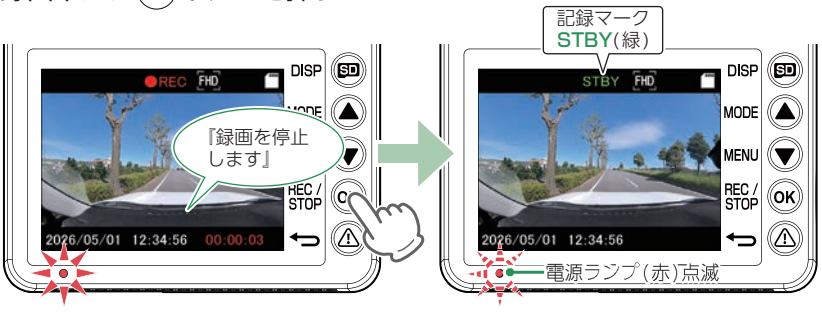
2-4 設定モードで、(⚠)ボタンを押す



録画を再開します。

3. 録画を停止する

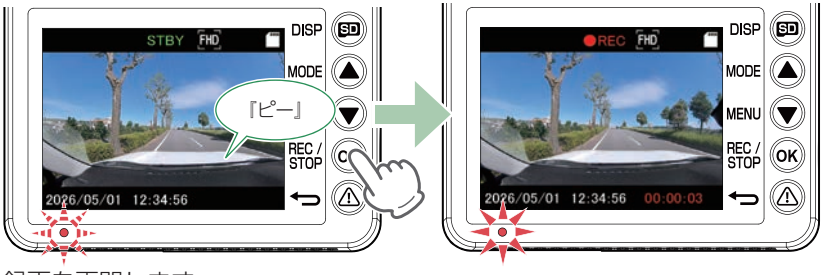
3-1 録画中に、(OK)ボタンを押す



録画を停止します。
電源ランプ(緑)が点滅、記録マークSTBY(緑)を表示します。

4. 録画を再開する

4-1 録画停止中に、(OK)ボタンを押す



録画を再開します。
※設定モードの場合は ☛ P.57、再生モードの場合は ☛ P.65 を参照ください。

5. ワンタッチ記録をする

5-1 録画中に、⚠ボタンを押す



イベントアイコンを表示し、ワンタッチ記録を開始します。

※ワンタッチ記録後は、自動で常時録画へ戻ります。

※ワンタッチ記録の詳細は ☛ P.26 を参照ください。

6. 音声録音をON/OFFする

※設定モードからも変更できます。(☛ P.58「音声録音」)

6-1 ▼ボタンを3秒以上長押しする

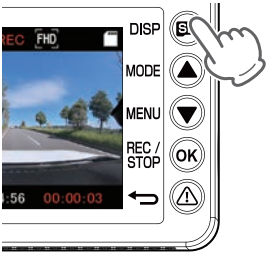


＜音声録音：ON＞　＜音声録音：OFF＞

▼ボタンを3秒以上長押しするたびに、音声録音ON/OFFが切り替わります。

7. 画面表示を切り替える

7-1 SDボタンを押す





＜画面ON＞



＜画面OFF＞

SDボタンを押すたびに、画面をON/OFFします。

8. 電源OFF(録画を終了する)

本機は、車両の停止(ACC OFF)に連動して録画を終了します。

8-1 車両を停止(ACC OFF)する

録画が停止し、電源OFFになります。

駐車監視を行う場合は、☛ P.55を参照ください。

駐車監視を行う(開始/終了)

別売品

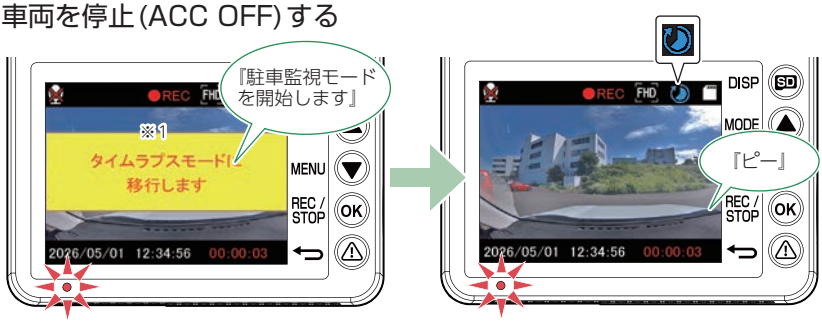
⚠注 意

駐車監視モードの使用には車両停止(ACC OFF)状態での電源供給が必要なため、別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)、または駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)が必要です。(☛ P.19)

■ A:駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)接続時【自動切替】

A-1 自動駐車モード切替を[ON]に変更する(☛ P.58)

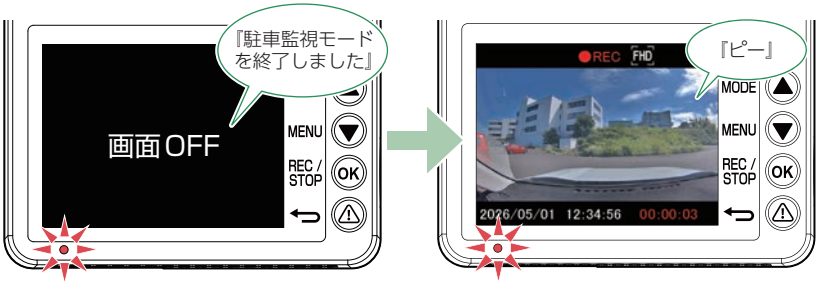
A-2 車両を停止(ACC OFF)する



車両バッテリーから電源を供給し、自動で駐車監視モードへ移行して駐車監視を開始します。(☛ P.28)

※駐車監視モード開始までに数秒かかります。アイコンをご確認ください。

A-3 車両を始動(ACC ON)する



電源供給が継続している場合、自動で駐車監視モードを終了して通常の録画を開始します。

※検出電圧/オフタイマー設定により駐車監視モードを終了している場合、通常の録画を開始します。

※1:駐車監視モード(タイムラプス/動体検知)により、メッセージは異なります。

■ B：マルチバッテリー (OP-MB4000Ⅱ) 接続時【手動切替】

B-1 車両を停止 (ACC OFF) する

マルチバッテリーから電源を供給し、録画を継続します。

B-2 ⓞⓚボタンを３秒以上長押しする



駐車監視モードへ移行して駐車監視を開始します。(☛ P.28)

※駐車監視モード開始までに数秒かかります。アイコンをご確認ください。

B-3 車両を始動 (ACC ON) する

電源供給が継続している場合、駐車監視モードも継続します。ⓞⓚボタンを３秒以上長押しして駐車監視モードを終了してください。

※オフタイマー設定により駐車監視モードを終了している場合、通常の録画を開始します。

※1：駐車監視モード (タイムラプス / 動体検知) により、メッセージは異なります。

■ 駐車監視の動作



※検出電圧 / オフタイマー設定 (☛ P.43、48)、またはⓞⓚボタンを３秒以上長押しで駐車監視を終了します。

※強制的に終了する場合は、フロントカメラユニットのDCジャックから電源コードを取り外してください。(☛ P.13)

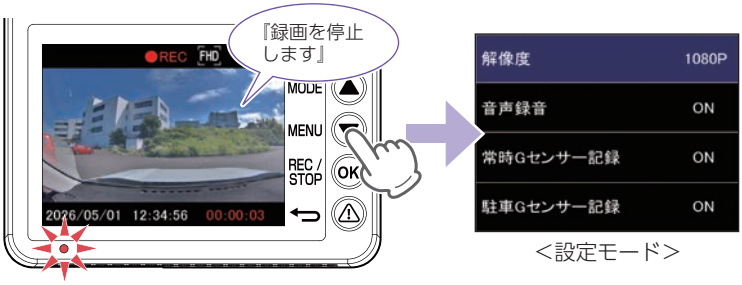
※別売品の駐車監視用 電源直結コード (OP-VMU5M) 接続時は、自動駐車モード切替 [ON] にすることで、車両始動 / 停止 (ACC ON/OFF) と連動して常時録画⇔駐車監視モードへ自動で切り替えることができます。

設定モードの表示方法

※駐車監視モード中は[設定][再生][フォーマット]できません。(OK)ボタンを3秒以上長押しして駐車監視モードを終了してから行ってください。

1. 設定モードを表示する

1-1 動画記録モードで、(▼)ボタンを押す



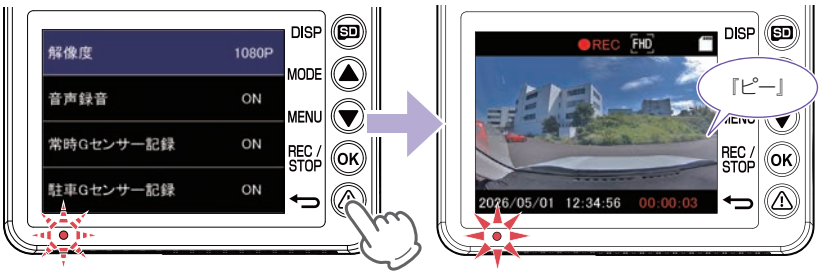
＜設定モード＞

録画を停止し、設定モードを表示します。

2. 録画を再開する

設定完了後は、下記の手順で録画を再開します。

2-1 設定モードで、(⚠)ボタンを押す



録画を開始します。

設定モード

①解像度 1080P	⑤常時Gセンサー感度	⑨駐車監視モード タイムラプス
②音声録音 ON	⑥駐車Gセンサー感度	⑩動体検知感度 MID
③常時Gセンサー記録 ON	⑦上書きモード 全て上書き	⑪LCDフラッシュ OFF
④駐車Gセンサー記録 ON	⑧自動駐車モード切替 OFF	⑫車線逸脱警告 OFF

⑬基準位置初期化 未補正	⑰操作音 ON	画面自動オフ 1分
⑭日時	⑱画面自動オフ 1分	SD初期化
⑮フリッカレス 60Hz	⑲SD初期化	設定初期化
⑯音量 5	⑳設定初期化	㉑バージョン

■ 設定モード時のボタンの機能

ボタン	機　能	
SDボタン	短押し	画面表示をON/OFFします。
▲ボタン	短押し	項目や設定値を選択したり、値を増加します。
▼ボタン	短押し	項目や設定値を選択したり、値を減少します。
OKボタン	短押し	項目や設定値を決定します。※1
⚠ボタン	短押し	前の画面へ戻ります。 動画記録モードへ切り替え、録画を開始します。

※1：日時設定の場合、次の項目を選択します。(年⇒月⇒日…)

★は初期値です。

No.	項　目	設　定	説　明
①	解像度	1080P(1920 x 1080)(★) ／720P(1280 x 720)	フロントカメラの解像度を選択します。 ※変更する場合、フォーマットが必要になります。
②	音声録音	OFF ／ ON(★)	音声録音のON/OFFを選択します。 ※動画記録モードでも変更できます。(☛ P.53)
③	常時 Gセンサー 設定	OFF ／ ON(★)	常時(ACC ON)/駐車監視モード時(ACC OFF)にGセンサー記録を行うかON/OFFで選択します。
④	駐車 Gセンサー 設定		
⑤	常時 Gセンサー 感度	X:0.5～4.0G (1.0G★) Y:0.5～4.0G (1.0G★) Z:0.5～4.0G (1.0G★)	常時(ACC ON)/駐車監視モード時(ACC OFF)のGセンサー感度を設定します。 ※X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の衝撃感度を0.1Gステップで個別に設定します。 ※感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります。
⑥	駐車 Gセンサー 感度	X:0.2～4.0G (0.5G★) Y:0.2～4.0G (0.5G★) Z:0.2～4.0G (0.5G★)	
⑦	上書きモード	上書き禁止 ／常時録画上書き ／全て上書き(★)	詳細は ☛ P.31 を参照ください。
⑧	自動駐車 モード切替 ※2※3	OFF(★) ／ ON	[ON]で車両停止(ACC OFF)時に自動で駐車監視モードへ移行します。また、車両始動(ACC ON)で駐車監視モードを終了します。
⑨	駐車監視 モード※4	動体検知 ／タイムラプス(★)	詳細は ☛ P.28 を参照ください。
⑩	動体検知感度	OFF(無効) ／LOW(鈍感) ／MID(★普通) ／HIGH(敏感)	フロントカメラの動体検知感度を選択します。
⑪	LCD フラッシュ	OFF(★) ／ ON	駐車監視モード時にイベント記録が発生した場合、LCDフラッシュで威嚇を行うかON/OFFで設定します。(☛ P.30「警報機能」)

※2：使用には別売品の駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)が必要になります。
※3：[ON]時は録画停止/設定モード/再生モード時でも車両停止(ACC OFF)から約3分間操作しない場合は、自動で駐車監視モードへ移行します。
※4：駐車監視モードの使用には車両停止(ACC OFF)状態での電源供給が必要なため、別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)または駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)が必要になります。(☛ P.19)

★は初期値です。

No.	項　目	設　定	説　明
⑫	車線逸脱警告 ※5	OFF(★) ／ 音声なし ／ 警告音 ／ 音声警告	警告のお知らせ方法を選択します。 ※ 警告音 / 音声警告の詳細は ☛ P.33 を参照ください。
⑬	基準位置初期化 (☛ P.61)	—	フロントカメラの基準位置を初期化します。 車線逸脱警告に使用されます。 ※ 数分間走行することで基準位置は調整され、[未補正] ⇒[補正済み]となります。
⑭	日時 (☛ P.51)	—	日付や時刻を設定します。
⑮	フリッカレス	50Hz ／ 60Hz(★)	使用している地域の商用周波数に合わせてください。 東日本：50Hz、西日本：60Hz
⑯	音量	0(消音)※5 ／ 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5(★)	本機の音量を選択します。(0(消音)<1<2<3<4<5) ※ 音量は一律で変更され、個別に設定することはできません。
⑰	操作音 ※5	OFF ／ ON(★)	操作時に音を鳴らすかON/OFF で選択します。
⑱	画面自動オフ	無効 ／ 1分(★) ／ 3分	設定時間が経過すると、画面表示を自動的にOFFします。画面を表示させる場合は、いずれかのボタンを押してください。
⑲	SD初期化	—	SDカードを初期化(フォーマット)します。 (☛ P.62) ※ 録画ファイルはすべて削除されます。
⑳	設定初期化	—	本機をご購入時の設定に戻します。 ※ 実行後、再起動します。
㉑	バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

※5：音量が[0(消音)]の場合、警告音 / 音声警告 / 操作音は鳴りません。

安全運転サポート機能のお知らせ方法について (⑫)

OFF　…… お知らせしません。
音声なし…… 表示のみでお知らせします。
警告音…… 警告音と表示でお知らせします。
音声警告…… 音声警告と表示でお知らせします。

例：車線逸脱警告[音声警告]



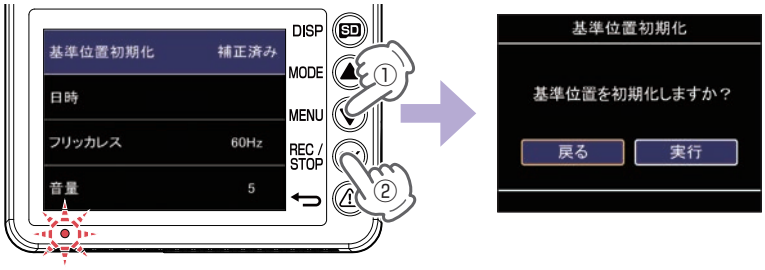
基準位置初期化

フロントカメラの設置位置を変更、安全運転サポート機能が正常に動作しない場合に行ってください。

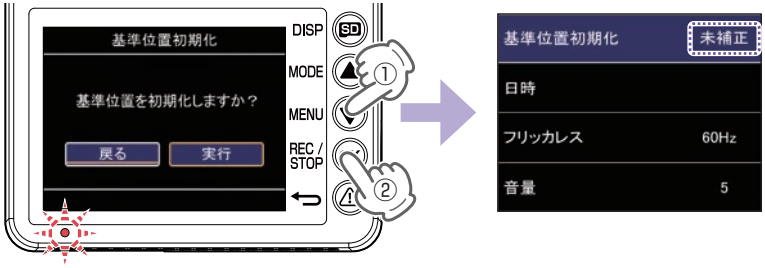
1. 基準位置を初期化する

1-1 設定モードを表示する(☛ P.57)

1-2 [基準位置初期化]を選択し、(OK)ボタンを押す



1-3 [実行]を選択し、(OK)ボタンを押す



初期化が完了すると、[未補正]になります。

1-4 数分間走行する



基準位置は調整され[補正済み]となります。

SD初期化(フォーマット)

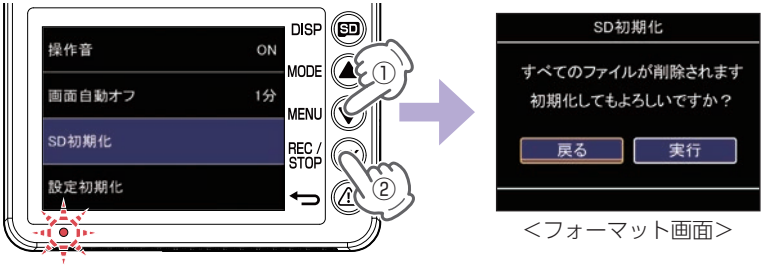
付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。

※フォーマットを行うと、すべての録画ファイルが削除されます。必要に応じてパソコンなどにバックアップしてからフォーマットしてください。
※(SD)ボタンでフォーマットする方法は ☛ P.14「SDカードをフォーマットする」を参照ください。
※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。
※容量が大きいSDカードをフォーマットする場合、フォーマット完了までに数分間かかることがあります。あらかじめご了承ください。

1. SDカードをフォーマットする

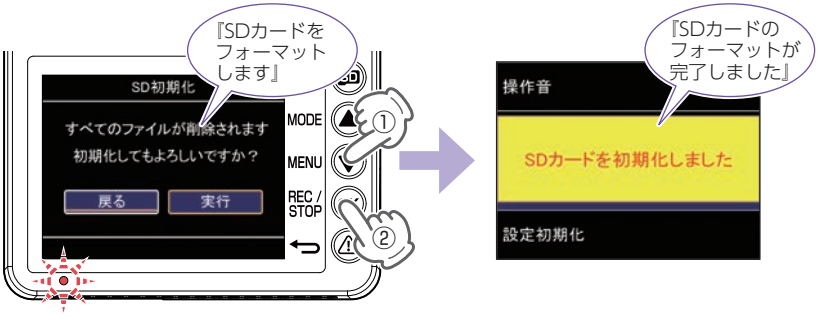
1-1 設定モードを表示する(☛ P.57)

1-2 [SD初期化]を選択し、(OK)ボタンを押す



<フォーマット画面>

1-3 [実行]を選択し、(OK)ボタンを押す



フォーマットを開始します。
「SDカードを初期化しました」と表示します。いずれかのボタンを押してメッセージ表示を解除してください。

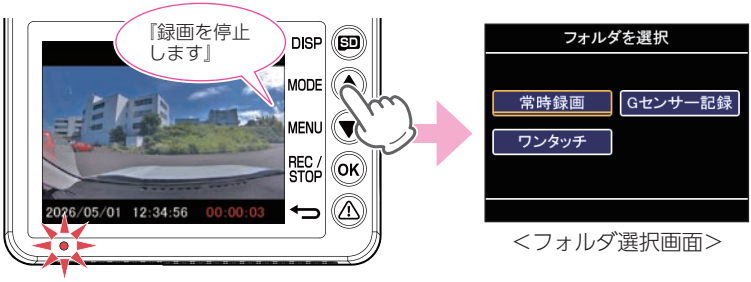
※「初期化に失敗しました」など、エラーが表示される場合は ☛ P.72 を参照ください。

再生モードの表示・再生方法

※駐車監視モード中は[設定][再生][フォーマット]できません。(OK)ボタンを3秒以上長押しして駐車監視モードを終了してから行ってください。

1. 再生モードを表示する

1-1 動画記録モードで、(▲)ボタン押す



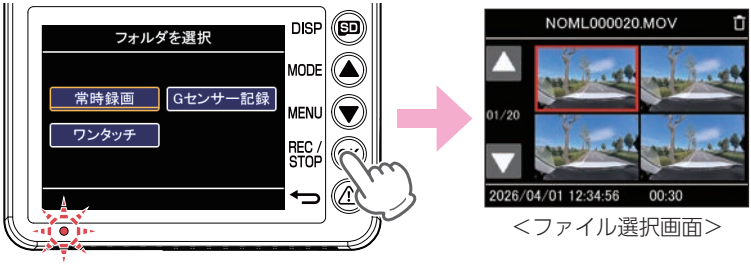
＜フォルダ選択画面＞

録画を停止し、再生モードのフォルダ選択画面を表示します。

※常時録画(通常録画/タイムラプス/動体検知)、Gセンサー記録(Gセンサー記録)、ワンタッチ記録(ワンタッチ記録)

2. 本機で録画ファイルを再生する

2-1 フォルダを選択し、(OK)ボタンを押す

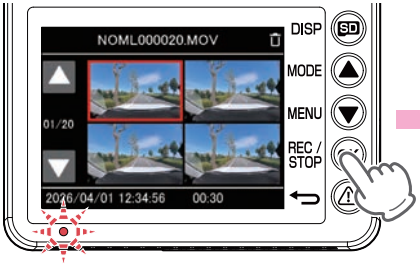


＜ファイル選択画面＞

ファイル選択画面を表示します。

※常時録画(通常録画/タイムラプス)、イベント記録(Gセンサー記録/動体検知記録)、ワンタッチ記録(ワンタッチ記録)

2-2 ファイルを選択し、(OK)ボタンを押す





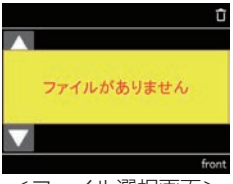
＜再生画面＞

録画ファイルを再生します。

再生時のボタン機能は ☛ P.67 を参照ください。

※記録方法によって動画の１ファイル単位の構成は異なります。
（☛ P.75「録画ファイル構成」）

フォルダ内に録画ファイルがない場合は、「ファイルがありません」と表示します。



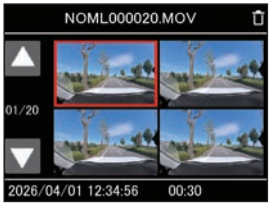
＜ファイル選択画面＞

3. 録画を再開する

再生後は、下記の手順で録画を再開します。

3-1 再生画面で、⚠ボタンを押す

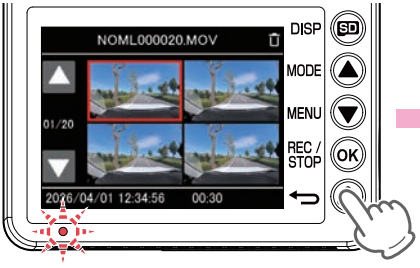


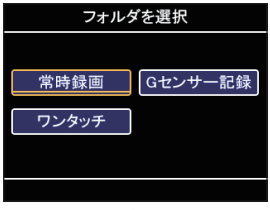


＜ファイル選択画面＞

ファイル選択画面を表示します。

3-2 ⚠ボタンを押す

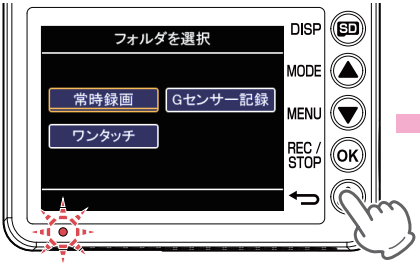


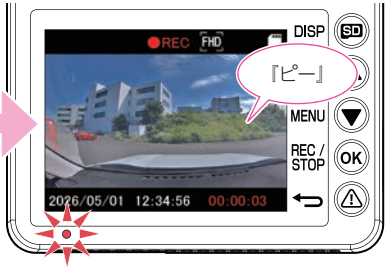


＜フォルダ選択画面＞

フォルダ選択画面を表示します。

3-3 ⚠ボタンを押す

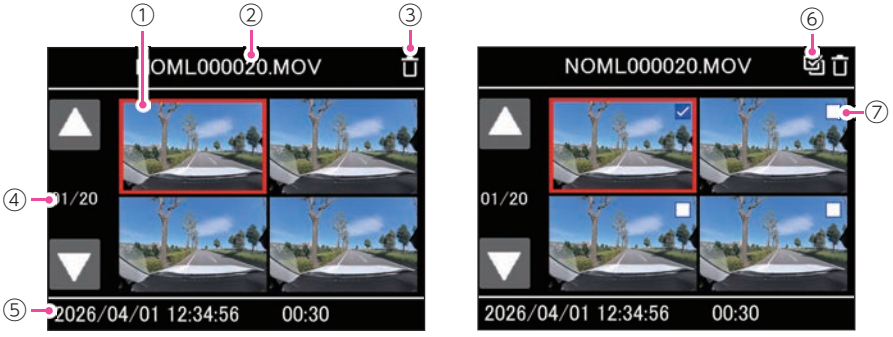




録画を開始します。

再生モード

※再生モードの表示方法は ☛ P.63 を参照ください。



＜ファイル選択画面＞　＜ファイル選択画面（消去）＞



＜再生画面＞

No.	表示名	説　明
①	選択中のファイル	選択中の録画ファイルを赤色枠で表示します。
②	ファイル名	選択中のファイル名を表示します。(☛ P.70)
③	消去アイコン	消去チェックボックスを表示します。(未選択)/(選択)
④	ファイル数	現在のファイル/総ファイル数を表示します。
⑤	記録日時 ＋ファイルの長さ	選択中の録画ファイルの記録日時とファイルの長さを表示します。
⑥	全選択アイコン	すべての録画ファイルに✓を入れます。(未選択)/(選択)
⑦	消去チェックボックス	消去する録画ファイルに✓を入れます。
⑧	再生アイコン	一時停止中に表示します。
⑨	再生時間	現在の再生時間/ファイルの長さを表示します。

■ 再生モード時のボタンの機能

ボタン	動　作	機　能	
SDボタン	ファイル選択時	短押し	画面表示をON/OFFします。
	ファイル再生時		
▲ボタン	ファイル選択時	短押し	次のファイルを選択します。
	ファイル再生時	短押し	次のファイルを再生します。
▼ボタン	ファイル選択時	短押し	前のファイルを選択します。
	ファイル再生時	短押し	前のファイルを再生します。
OKボタン	ファイル選択時	短押し	再生します。
	ファイル再生時	短押し	再生/一時停止します。
⚠ボタン	ファイル選択時	短押し	フォルダ選択画面を表示します。
	ファイル再生時	短押し	ファイル選択画面を表示します。

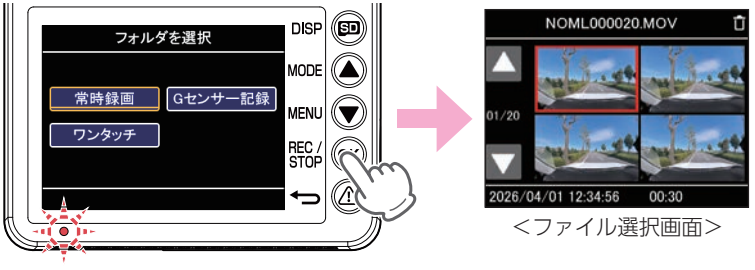
録画ファイルの消去

※SDカード内の録画ファイルをすべて消去する場合は、SDカードフォーマットを行ってください。
(☛ P.14、62)

1. 録画ファイルを消去する

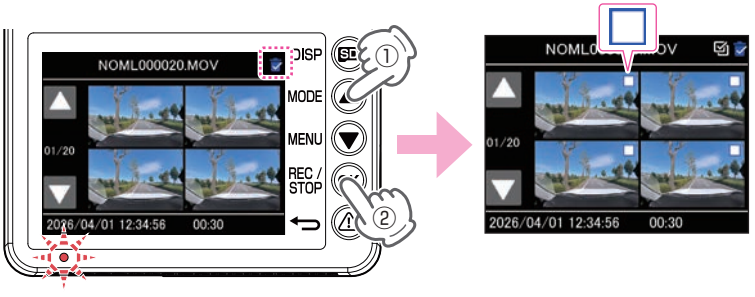
1-1 再生モードを表示する(☛ P.63)

1-2 消去したい録画ファイルがあるフォルダを選択し、(OK)ボタンを押す



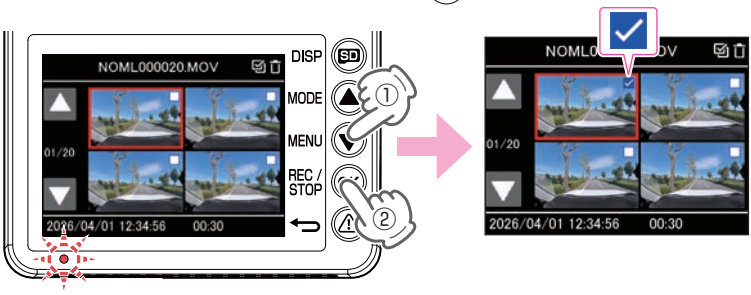
<ファイル選択画面>

1-3 画面右上の / (消去)アイコンを選択し、(OK)ボタンを押す



録画ファイルにチェックボックスが表示されます。

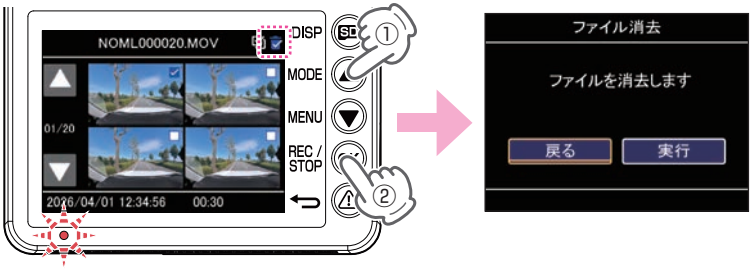
1-4 消去したい録画ファイルを選択し、(OK)ボタンを押す



録画ファイルに✓が入ります。

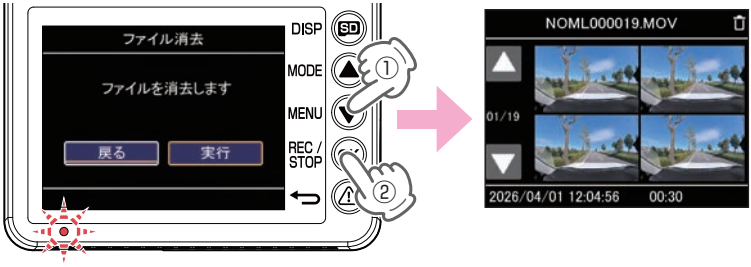
※フォルダ内すべての録画ファイルを選択する場合は、/(全選択)アイコンを選択・決定してすべての録画ファイルに✓を入れてください。

1-5 画面右上の /(消去)アイコンを選択し、(OK)ボタンを押す



「ファイルを消去します」と表示されます。

1-6 [実行]を選択し、(OK)ボタンを押す



選択した録画ファイルを消去します。

録画ファイルの読み出しについて

本機で記録した映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生・表示することができます。

OS	Microsoft Windows 11、10
CPU	Intel Core i3 相当、2.7GHz以上
RAM	4GB 以上

(2026年5月現在)

※CPU性能やRAMの状態、他アプリケーションの同時作動等の環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。
※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。
※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。
本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。
※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
※CPUやRAMが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
※ご使用のSDカード容量に対応していないカードリーダーを使用した場合、SDカード内のファイルが破損することがあります。

■ フォルダ構造について

各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。



■ ファイル名について

フォルダ種類、ファイル番号がファイル名になります。

例：NOML 000001 . MOV ―― 動画形式
フォルダ種類　ファイル番号

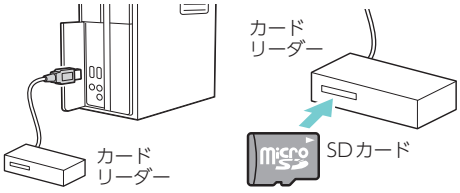
フォルダ種類	記録方法
NOML(常時録画)	通常録画、タイムラプス、動体検知
EVGS(Gセンサー記録)	Gセンサー記録
EVSW(ワンタッチ記録)	ワンタッチ記録

1. SDカードを直接パソコンと接続する

⚠ 注 意

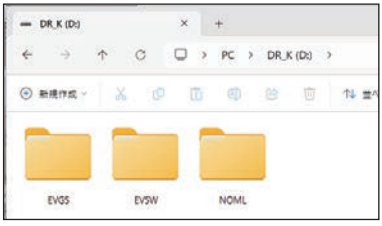
パソコンではファイル再生やバックアップ以外の操作をしないでください。SDカード内のデータの書き換え/消去などを行った場合、本機が正常に動作しないことがあります。

1-1 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーを接続する必要はありません。

1-2 SDカードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く



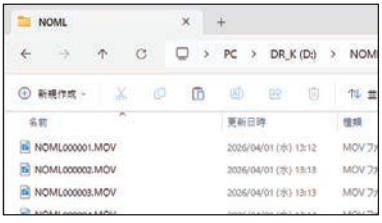
・フォルダ名について

NOML ：通常録画、タイムラプス、動体検知

EVGS ：Gセンサー記録

EVSW ：ワンタッチ記録

1-3 録画ファイルをダブルクリックする

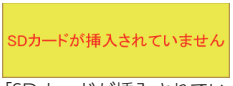
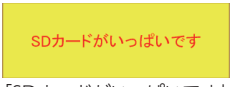
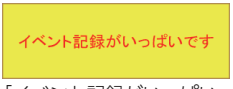
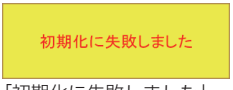
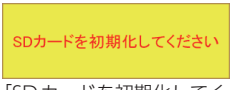
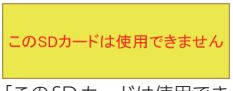
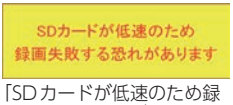


Windows標準の「映画＆テレビ」で再生することができます。

こんなときは

本機に異常などがあった場合にメッセージと音声でお知らせします。

※音量[0(消音)]にしている場合、音声/音によるお知らせはしません。
※メッセージ表示を解除する場合は、いずれかのボタンを押してください。

メッセージ	対処方法
「SDカードが挿入されていません」	□ SDカードを挿入、または再挿入してください。(☛ P.20)
「SDカードがいっぱいです」	□ 上書きモードが[上書き禁止]になっていませんか。 上書きモードを[上書き禁止]に設定した場合、常時録画がSDカード容量の上限に達すると、録画を停止します。上書きモードの設定は、☛ P.23を参照ください。 □ 本機でSDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、すべてのファイルが削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(☛ P.14、62)
「イベント記録がいっぱいです」	□ 上書きモードが[上書き禁止]または[常時録画上書]になっていませんか。 上書きモードを[上書き禁止]または[常時録画上書]に設定した場合、イベント記録がSDカード容量の上限に達すると、イベント記録を停止します。上書きモードの設定は、☛ P.23を参照ください。
「初期化に失敗しました」 「SDカードを初期化してください」	□ 本機に対応したSDカードかご確認ください。 記録媒体：microSDHC/microSDXCカード 容量：16GB~128GB スピードクラス：Class 10以上 □ SDカードを抜き差しし、再度フォーマットしてください。(☛ P.14、62) □ フォーマット後も頻繁にメッセージが表示される場合は、新しいSDカードに交換してください。
「このSDカードは使用できません」 「SDカードが低速のため録画失敗する恐れがあります」	□ 本機に対応したSDカードかご確認ください。 記録媒体：microSDHC/microSDXCカード 容量：16GB~128GB スピードクラス：Class 10以上

故障かな？と思ったら

電源がONにならない

□ 電源コードが外れていませんか。

□ シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良をおこしていませんか。
2～3回左右にひねりながらシガーライターソケットに挿し込み直してください。

□ ヒューズが切れていないか確認してください。(☛ P.34)

電源はONになるが本体が起動しない/画面が表示されない

□ リセットボタンを押して再起動してください。(☛ P.17)

□ SDカードを取り外して起動してください。
起動する場合はSDカードが原因となっている可能性があります。本機に対応したSDカードかご確認ください。(☛ P.77)

□ 画面自動オフの設定をしていませんか。(☛ P.58)
いずれかのボタンを押して画面を表示してください。

□ 本体内部が高温になっていませんか。
本体温度が高温になると液晶パネル保護のため液晶パネルが自動的に画面OFFになりますが録画は継続して行われます。動作温度範囲まで温度が下がると自動的に画面ONします。

正常に動作しない

□ パソコンでSDカード内のデータを書き換えたり消去していませんか。
パソコンでSDカード内のデータの書き換え/消去などを行った場合、本機が正常に動作しないことがあります。その際は、本機でSDカードをフォーマットしてください。(☛ P.14、62)

車両停止(ACC OFF)しても本体電源がOFFにならない　別売品

□ 車両停止(ACC OFF)してもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。

□ 自動駐車モード切替の設定が[ON]なっていませんか。
[ON]の場合、車両停止(ACC OFF)後に駐車監視モードへ移行します。(☛ P.28)

日時がずれる

□ 本機には日時の自動補正機能はありません。手動で日時を合わせてください。(☛ P.51)

イベント記録ファイルが生成されない

□ 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。
その際は、常時録画の映像をご確認ください。(☛ P.70)

映像が記録できない

□ SDカードが正しく挿入されていますか。
microSDアイコンをご確認ください。(☛ P.21)

録画ファイルがない

□ 上書きされていませんか。
初期値では上書き設定「全て上書き」のため上限に達すると上書きされます。(☛ P.31)

□ 各専用フォルダを確認してください。(☛ P.66、70)

駐車監視モードへ移行しない/動作がおかしい

別売品

＜駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)接続時＞(自動切替)

□ 駐車記録スイッチは[ON]になっていますか。(☛ P.49)

□ 自動駐車モード切替は[ON]になっていますか。(☛ P.58)
[OFF]の場合、車両停止(ACC OFF)に連動して駐車監視モードを開始できません。

□ 駐車監視モード時の車両バッテリー電圧が検出電圧設定以下になっていませんか。
検出電圧設定以下では電源供給は行われません。検出電圧設定を変更してください。(☛ P.48)

＜マルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)接続時＞(手動切替)

□ 電源コネクターは接続されていますか。(☛ P.45)

□ 自動駐車モード切替には対応していません。手動で切り替えてください。(☛ P.56)

□ オフタイマー設定が[使用しない]、またはディップスイッチ4が[OFF]になっていませんか。(☛ P.43)
上記の設定では車両停止(ACC OFF)後の本機への電源供給が行われません。

□ オフタイマー設定に関係なく、使用状況(使用機種/接続状態/充電状態/設置環境等)により電源供給できる時間は変化します。また、OP-MB4000Ⅱの内蔵電池が少なくなった場合には電源供給を自動的に停止します。

安全運転サポート機能が動作しない

＜車線逸脱警告＞

□ お知らせ方法が[OFF]になっていませんか。
初期値は[OFF]のためお知らせしません。設定をご確認ください。(☛ P.58)

□ 録画停止中や駐車監視モード中ではありませんか。
録画停止中や駐車監視モード中では安全運転サポート機能が無効になりお知らせしません。

□ フロントカメラユニットの取り付け位置をご確認ください。(☛ P.36)
画像処理によって先行車/車線を検知するため取り付け位置に条件があります。

□ 基準位置初期化を行ってください。(☛ P.61)

仕 様

外形寸法 (突起部除く)	64(幅)×53(高さ)×33(奥行)mm ※ 取付ブラケット(テープ貼付)装着時86(高さ)mm (窓ガラス25°想定の場合)
本体重量	約65g (microSDカード含む)
記録媒体	microSDカード (16GB付属)　16GB ～ 128GB (Class10以上)
撮影素子	200万画素カラー CMOS
最大記録画角※1	対角155°(水平135°、垂直75°)
記録解像度	最大200万画素 1080P(1920×1080)／720P(1280×720)
F値	1.8
GPS	無
Gセンサー	有 (感度設定可能)
HDR	有
記録方式	常時録画(通常録画、タイムラプス) ／ イベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録＜手動録画＞) ／ 駐車監視(タイムラプス、動体検知)※2
録画ファイル構成	30秒単位、13分45秒単位※3
画面サイズ	2.0インチ　フルカラー TFT液晶
音声録音	ON／OFF可能
フレームレート	27.5コマ/秒、1コマ/秒※3
映像ファイル形式	MOV
記録映像 再生方法※4	Windows標準の「映画＆テレビ」
電源電圧	DC12Vマイナスアース車専用(5V入力)
消費電力	最大5W
動作温度範囲	－10℃～＋60℃
製品保証期間	1年 (消耗品は除く)

※上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※1：超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

※2：別売品のマルチバッテリー (OP-MB4000Ⅱ)、または駐車監視用 電源直結コード (OP-VMU5M) が必要です。(☛ P.19)

※3：タイムラプスのみ。

※4：Microsoft Windows 11、10に対応。

別売品：マルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)	
入力電圧	DC12V（最大6A）
出力電圧	12V（1A）
オフタイマー設定時間	0.5時間 ／ 1時間 ／ 2時間 ／ 4時間 ／ 6時間 ／ 12時間 ／ 無制限
内蔵電池	ニッケル水素電池　12V/4,000mAh
動作温度範囲	0℃～ +45℃（充電時：+5℃～ +45℃）
外形寸法 （突起部除く）	144（幅）× 33（高さ）× 131（奥行）mm
本体重量	約950g（内蔵電池含む）

別売品：駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)	
入力電圧	DC12V/24V
出力電圧	5V（2A）
検出電圧設定値	12V車：11.6V ／ 11.8V ／ 12V ／ 12.2V ／ 12.4V ／ 12.6V 24V車：23.6V ／ 23.8V ／ 24V ／ 24.2V ／ 24.4V ／ 24.6V
オフタイマー設定時間	0.5時間 ／ 1時間 ／ 2時間 ／ 3時間 ／ 4時間 ／ 6時間 ／ 12時間
動作温度範囲	－10℃ ～ ＋60℃
外形寸法 （突起部除く）	53（幅）× 67（高さ）× 23（奥行）mm
本体重量	約222g（ケーブル含む）

・Google、Googleマップは、Google LLC の商標です。
・「Windows®」、「Microsoft®Windows®」は、Microsoft Corporationの、商標または登録商標です。
・「microSD™」は、SD Card Associationの商標または登録商標です。
・その他の各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

microSDカード対応一覧表

※本機と市販品のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。
フォーマットをしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。
※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。
※容量が大きいmicroSDカードを使用した場合、ファイル数の増加により本機の動作が遅くなることがあります。あらかじめご了承ください。

記録媒体	microSDHC/microSDXCカード
容量	16GB ～ 128GB
SDスピードクラス	Class 10以上

※ スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

SDカード容量	通常時		タイムラプス	
	1080P(初期値)	720P	1080P(初期値)	720P
16GB(付属)	約109分	約146分	約50時間	約66時間
32GB	約218分	約292分	約100時間	約132時間
64GB	約436分	約584分	約200時間	約264時間
128GB	約872分	約1,168分	約400時間	約528時間

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
※お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因により録画可能時間は変化します。

2. イベント記録の最大記録件数

SDカード容量	1080P(初期値)	720P
16GB(付属)	約146件	約194件
32GB	約292件	約388件
64GB	約584件	約776件
128GB	約1,168件	約1,552件

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
※Gセンサー記録/ワンタッチ記録は合わせた件数になります。
※1件につき1ファイル移動した場合。
※SDカードによってファイル数が変化する場合があります。あらかじめご了承ください。